

2025 Pシリーズ リテラー組立マニュアル

**cervélo**

**velo**


# 目次


重要な情報。	3	シートポストアセンブリ	25
ツールと部品リスト。	4	シートポストの切断手順。	26
P シリーズ フレームの特長。	5	シートポスト D2 バッテリーの取り付け。	27
Pシリーズ部品リスト。	6	タイヤ/リムタリアランス	28
小さな部品。	7	ベアリングキャップベントフェアリング。	29
フレームの準備。	9	S803 トップチューブストレージ。	30
ST36 ステム。	11	エアロスルーアックスルの取り付け。	31
アクセサリマウントキット フロント 810。	12	Pシリーズ自転車用の用途	33
ブレーキホース配線	13	Pシリーズのトルク仕様。	34
電線の配線と設置	15	Pシリーズフレームの詳細	36
機械ハウジングのルーチングヒンストール。	17	P シリーズ フレームジオメトリ。	37
フォークの準備と取り付け。	19	機械的安全性チェック。	38
S805A インフレーム収納ドア。	21	Cerveloカスタマーサポート	40
S805 インフレームストレージロール。	23		


# 重要な情報

このマニュアルは、Cervélo正規販売店の皆様がCervélo Pシリーズの組み立てと調整を行うためのガイドです。このマニュアルでは、Cervéloコンポーネントの取り付け、および変速およびブレーキ制御ラインの配線に関する手順とプロセスについてのみ説明しています。このマニュアルに記載されている専用部品は、Cervéloまたはその正規販売代理店からのみ入手可能です。

指定された部品を使用せず、本組み立て手順に従わない場合、走行中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。本マニュアルは、サードパーティの部品メーカーが提供する組み立ておよびサービス手順に代わるものではなく、組み立て作業者は訓練を受けたプロの自転車整備士であることを前提としています。<https://www.probma.org/> をご覧ください。

**WARNING**  
この製品には 1 つ以上のボタン電池またはコイン電池が含まれています。  
  
摂取の危険性: 摂取すると死亡または重傷を負う可能性があります。  
  
• ボタン電池やコイン電池を飲み込むと、  
      わずか 2 時間で内部の化学火傷が発生します。  
  
• 新しい電池も使用済みの電池も子供の手の届かないところに保管してください。  
  
• 電池を飲み込んだり、体内に挿入された疑いがある場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



**WARNING**  
この製品には、カリフォルニア州で癌、先天性欠損症、またはその他の生殖への危害を引き起こすことが知られている化学物質が含まれています。

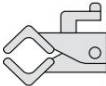
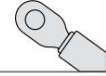







# ツールと備品のリスト

このマニュアルでは、Pシリーズ自転車の調整手順をいくつか説明しています。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。Cervéloは、すべての組み立ておよび調整手順をCervélo正規販売店にご依頼いただくことを強くお勧めします。

注:シマノやSRAMなどの非独自コンポーネントはすべて

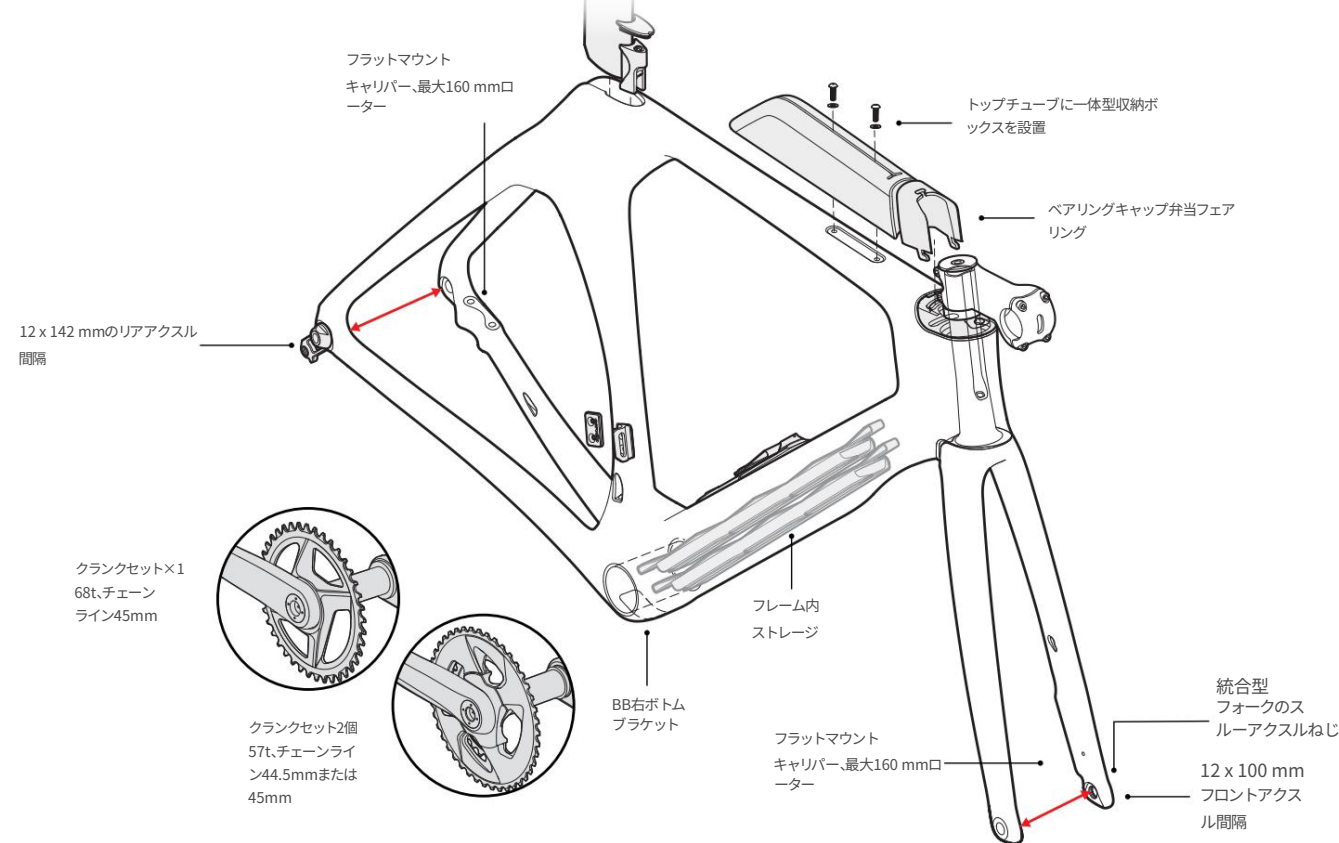
お近くの販売店から入手可能です。

注意:このマニュアルは、Cervélo 自転車ユーザー マニュアルを補完するために作成されたもので、コンポーネント製造元から提供された組み立ておよび設置手順 (この自転車に付属) を補足することを目的としています。

ツール	
	自転車用ワークスタンド (シートポストで自転車を固定するタイプ、またはフォークマウント付きのプロ用スタンド)
	2.5 N・m ~ 15 N・m および/または 10 N・m ~ 60 N・m の範囲のトルクレンチおよびアダプタ:
	六角ヘッドインサート: 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm、6mm、8mm、10mm
	オープンエンドレンチ: 7mm、8mm、10mm、17mm
	ケーブルカッター
	ペンチ
	プラスドライバーとマイナスドライバー
	ペダルレンチ
	ボトムブラケット/ベアリングプレス

ツール	
	内部ケーブル配線ツール
	ブレーキローター/ボトムブラケットロックリングツール
	油圧ブレーキブリードキット
	イソプロピルアルコール
	DI2ワイヤーツール - シマノ
	高品質の自転車用グリース (Park Tool HPG-1 または同等品) とカーボン アセンブリ コンパウンド (Dynamic Assembly Compound Carbon または同等品)。
	鋸切断ガイド (Park Tool SG-7.2または同等品)
	弓のこ (カーボンおよびアルミニウム専用ブレード付き)

## Pシリーズフレームの特徴



## Pシリーズ部品リスト

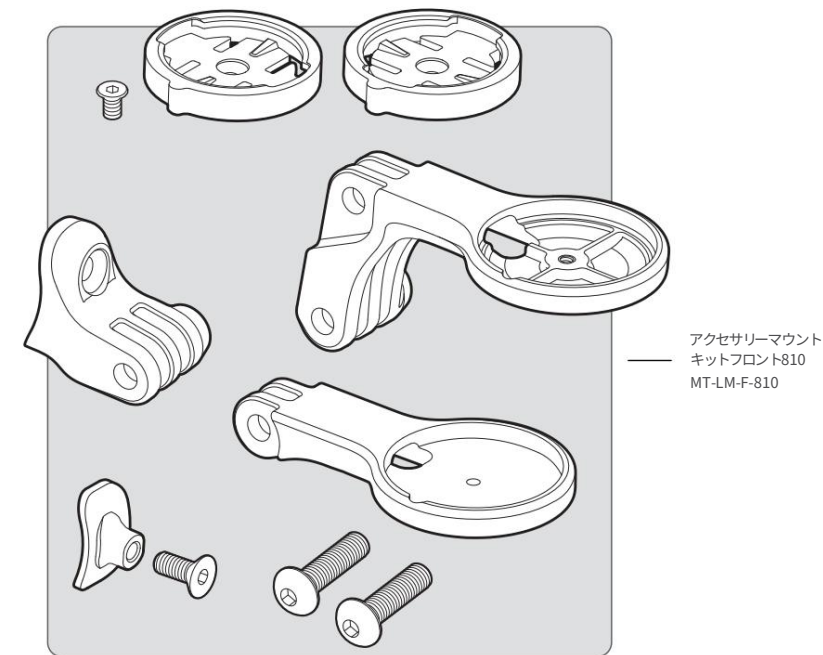
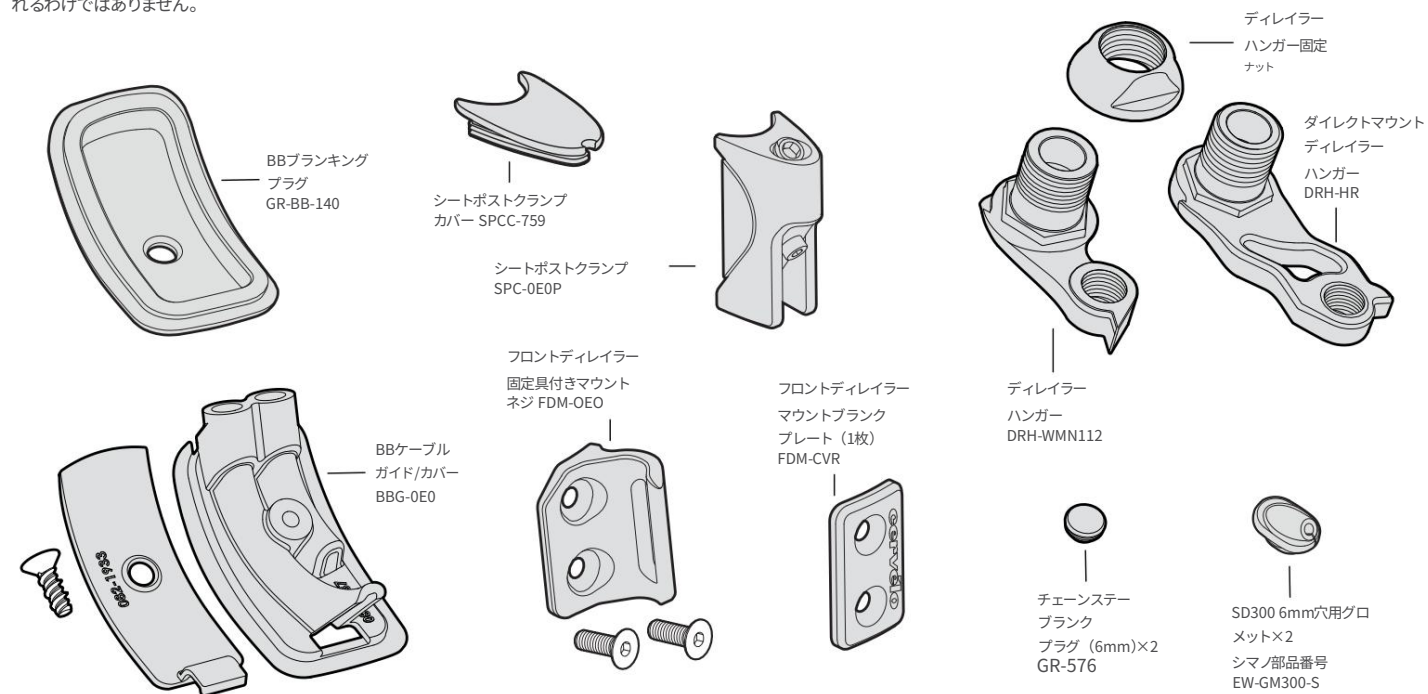
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
D字型フォーク 圧縮プラグ	FKI-CL005-517A
ヘッドセットスプリットリング	SR-STA
ヘッドセットベアリングキャッププラグ PL-853	
ヘッドセットベアリングキャップ付き ベアリングキャッププラグ	BC-833
ヘッドセットベアリングキャップ ベントフェアリングとカバー	PL-851
ヘッドセットベアリング 1-1/4" 45° x 45°	HS-082
ヘッドセットベアリング 1-3/8" 36° x 45°	HS-031
サーヴェロ フロントエアロスルー 取り外し可能な車軸 ハンドル	QRA-AERO2-F
取り外し可能なハンドル サーヴェロ エアロ スルーアクスル	QRA-AERO2-HNDL
サーヴェロ リアエアロスルー 取り外し可能な車軸 ハンドル	QRA-AERO2-R
SB05A ダウンチューブストレージ プルタブ付きドア	SB-SB05-DR-V2

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
SB05 フレーム内ストレージ ロール	SB-SB05-BG
ダウンチューブケーブル マネジメントスリーブ	プロキャブSL
BBブラッキングプラグR5	GR-BB-140
BBケーブルガイド/カバー	BBG-0E0
6 mmブラックプラグ	GR-576
シマノ SD300 6mm穴用グロメット	EW-GM300-S
フロントディレイラーマウント 固定ネジ	FDM-0E0
フロントディレイラーマウント ブラッキングプレート	FDM-CVR
チェーンステープロテクター 508	プロ-CS-508
リアディレイラーハンガー付き 固定ナット	DRH-WMN112
シマノ ダイレクトマウント RDH 固定ナ ット付き	DRH-HR
シートポストクランプカバー 759 SPCC-759	

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
シートポストクランプ アセンブリPシリーズ	SPC-0E0P
SB03 トップチューブストレージ 箱	SB-SB03-TT
ボトルボスカーブプレート CVR-WB	
ST36ステム	11ページ参照
ST36 ケーブルガイド	MT-597
アクセサリマウントキット フロント810	MT-LM-F-810
SP23 ロングカーボン ヘッド付きシートポスト	SP-SP23-LB
Pシリーズシートポスト バッテリーマウント	MT-BINT-SP
シートポストウォーターボトル マウント	MT-WB-SP
シートポストヘッドマウント スラッグ	SPS-SP2123

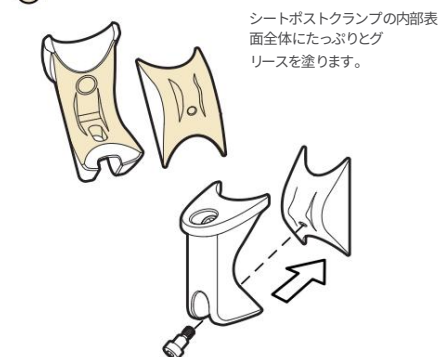
## 小さな部品

P シリーズ フレームは、電子制御、機械制御、油圧制御に対応するように設計されており、方法やブランドに関係なく、すべてのシフト システムをシームレスに統合できるように設計されています。  
そのためには、以下に示すパーツが必要です。自転車に装着されているグループセットによっては、すべてのパーツが使用されるわけではありません。



# フレームの準備

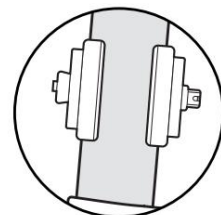
● グリース



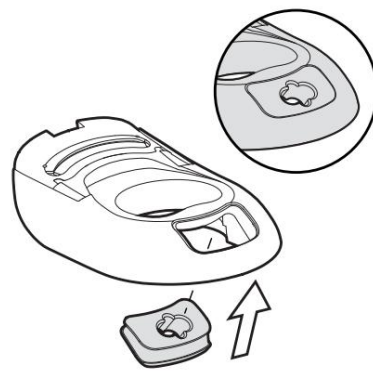
シートポストクランプの内部表面全体にたっぷりとグリースを塗ります。



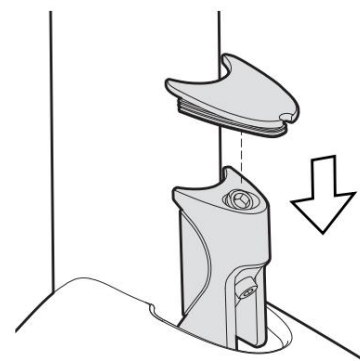
**WARNING**  
トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。



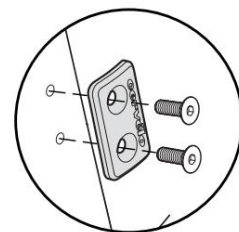
**WARNING**  
固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。



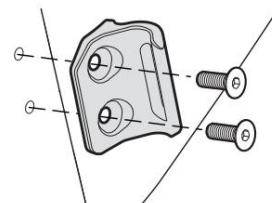
ベアリング キャップ プラグ (PL-853) をベアリング キャップ (BC-833) に上面と面一になるまで押し込んで取り付けます。



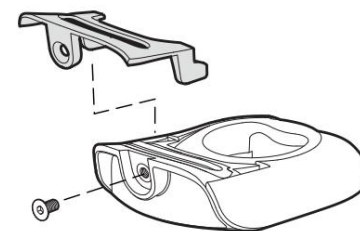
1. フレームとシートポストの両方にカーボンペストを塗ります。
2. シートポストクランプ (SPC-0E0P) をフレームに挿入し、トップチューブと完全に面一になるようにします。
3. シートポストの高さを調整し、クランプを最大 8 N・m に締めます。
4. シートポストクランプカバー (SPCC-759) を所定の位置に押し込んで完了です。



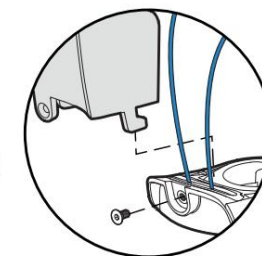
フロントディレイラーマウント (FDM-0E0) を取り付け、固定ネジが 3 N・m のトルクで締め付けられていることを確認してください。1xシステムの場合は、フロントディレイラーマウントブラッキングプレート (FDM-CVR) に交換してください。



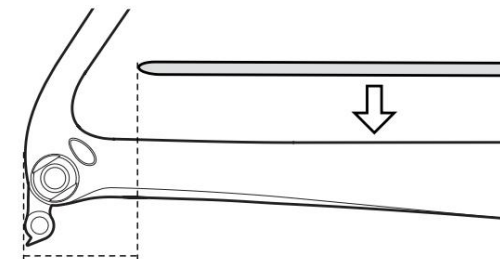
ベアリング キャップ カバーをベアリング キャップに取り付けます。  
1N・mまで締めます。



ベアリング キャップ Bento フェアリングを使用する場合は、すべての制御ラインをベアリング キャップに通してから取り付けます。



注意:ベアリング キャップには、ベアリング キャップ ベント フェアリングまたはベアリング キャップ カバーのいずれか 1 つだけを取り付けることができます。

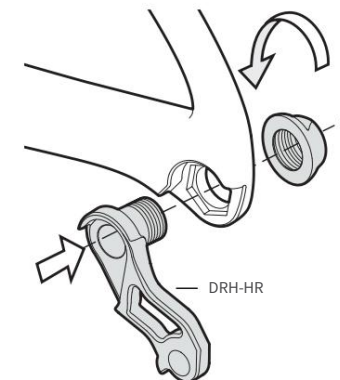
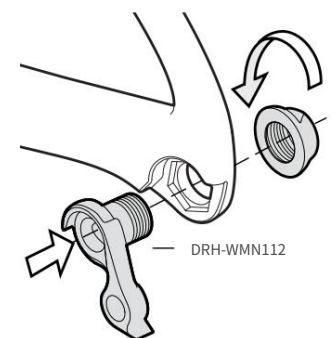


50ミリメートル

イソプロピルアルコールを使用してチェーンステーを清掃します。チェーンステープロテクター (PRO-CS-508) の粘着面をはがし、ガードをフレームに固定して取り付けます。ガード下端は、リアドロップアウト後端から約50mm前方に来るように配置してください。

リアディレイラーハンガー固定ナットに軽くグリースを塗布し、リアディレイラーハンガー (DRH-WMN112) またはダイレクトマウントリアディレイラーハンガー (DRH-SDM) を指で締め付けます。最終締め付けはリアホイールを取り付けた後に行います。

**WARNING**  
後輪を取り付けていない状態で、リアディレイラーハンガーアセンブリに最終トルクをかけないでください。ディレイラーの位置がずれ、変速不良が発生する可能性があります。



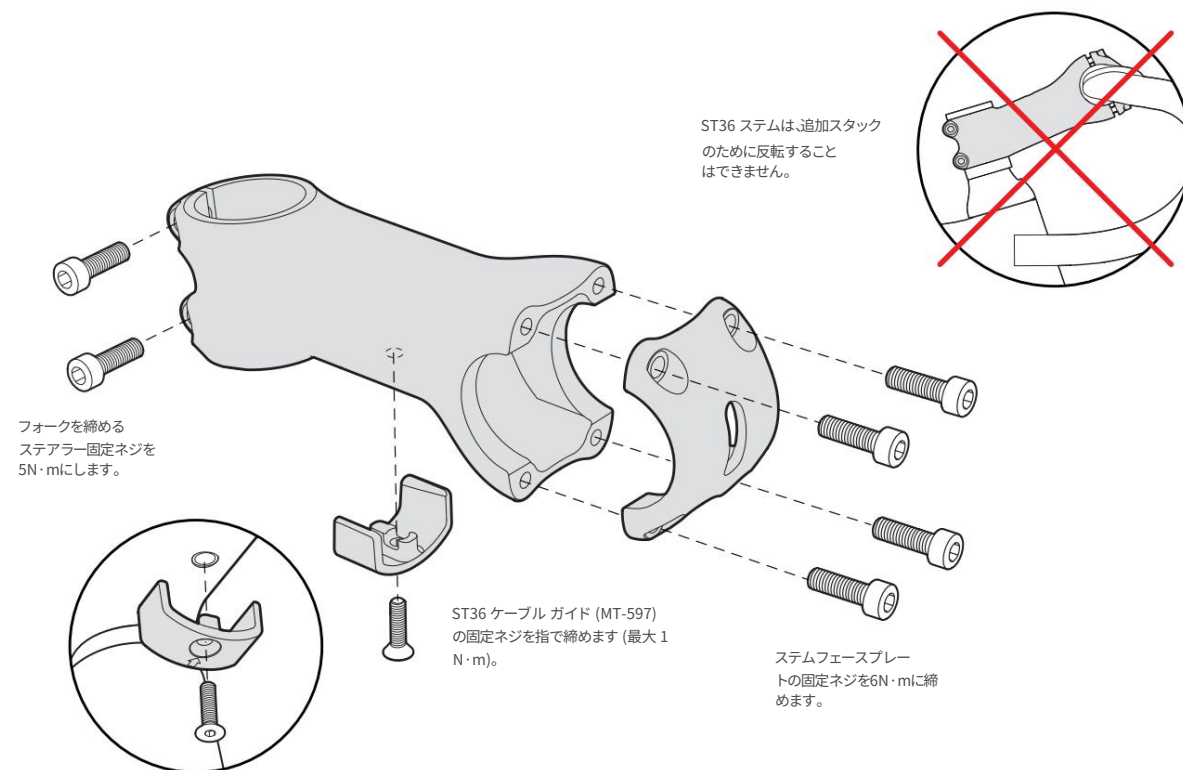


## ST36 ステム

サーヴェロ ST36 ステム  
(合金)

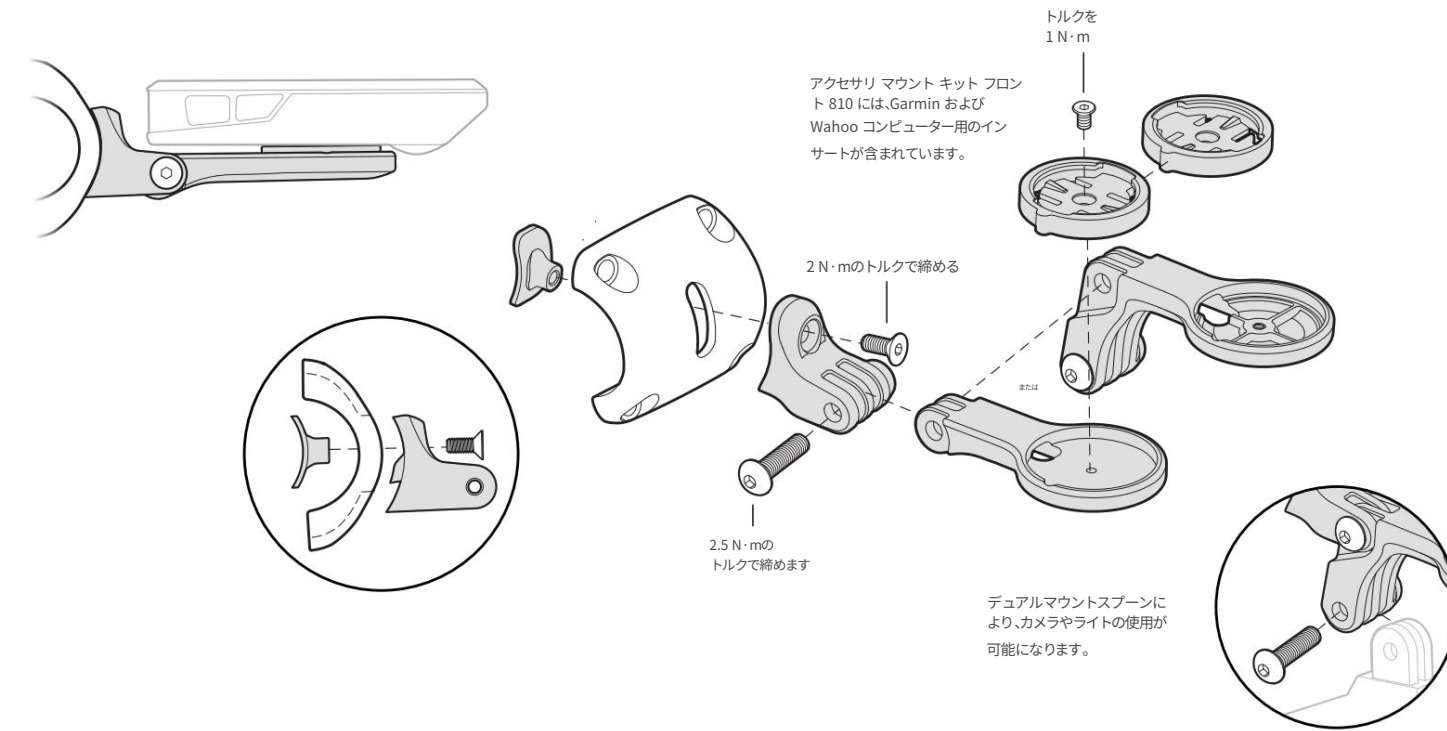
70 mm ST-A036-70-B\*  
80 mm ST-A027-80-B\* 90 mm  
ST-A036-90-B  
100 mm ST-A036-100-B 110 mm  
ST-A036-110-B 120 mm ST-  
A036-120-B 130 mm ST-A036-130-  
B

\*70 および 80 mm バージョンには  
ST36 ケーブル ガイドは含まれま  
せん。



## アクセサリマウントキット フロント 810

アクセサリ マウント キット フロント 810 (MT-LM-F-810) を使用すると、サイ  
クリング コンピューターをステムの上面の下に配置できます。

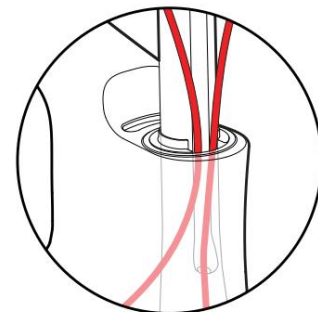
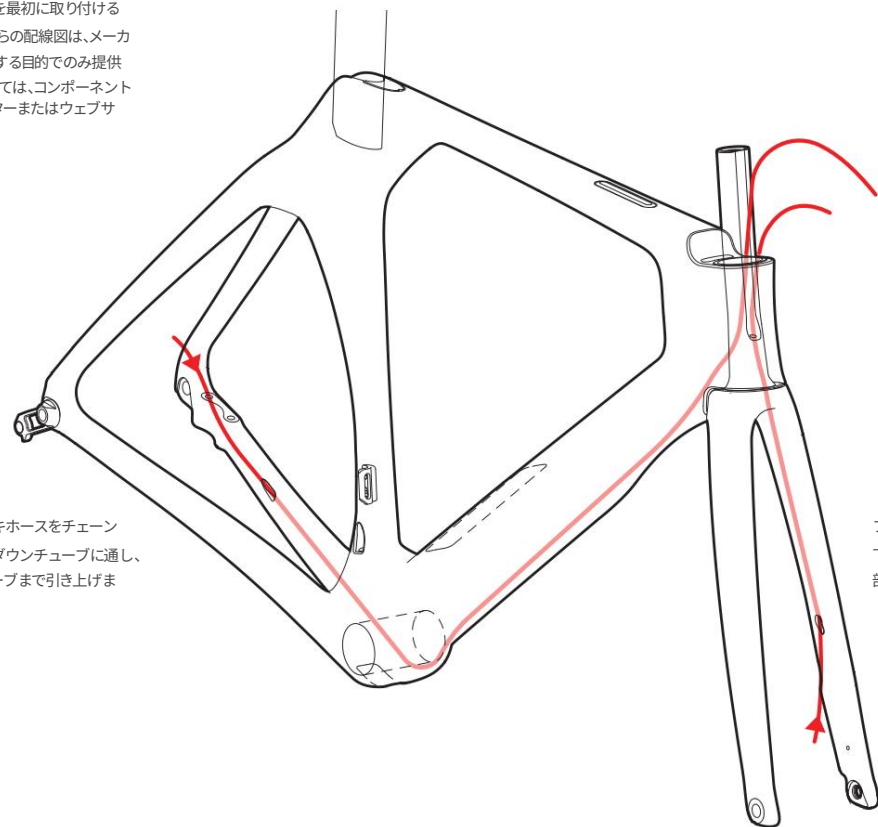


## ブレーキホースの配線

リア油圧ブレーキホースを最初に取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

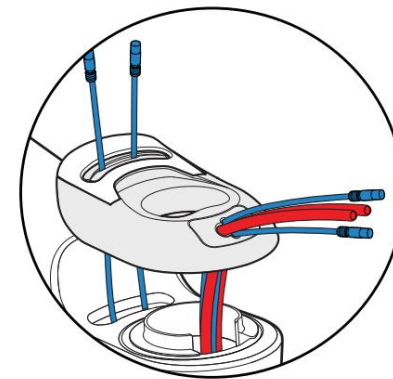
● ブレーキ  
● Eワイヤー(SD50)

リアブレーキホースをチェーンステーからダウンチューブに通し、ヘッドチューブまで引き上げます。

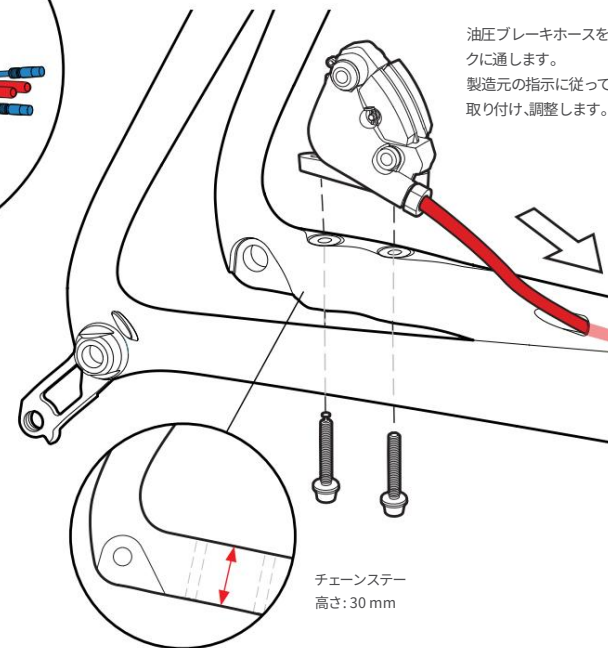


リアブレーキホースをヘッドチューブ内のフォークのドライブ側に配線します。

フロントブレーキホースをフォークの下から上に導き、フォークの貫通部から出します。

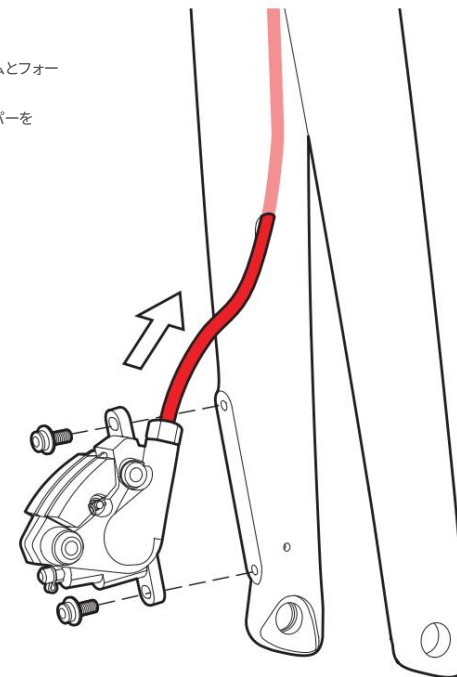


すべてのブレーキホース、電子ワイヤー、機械配線を配線する  
取り付け時にベアリングキャップを通してシフターハウジングに取り付けます。



チェーンステー  
高さ: 30 mm

油圧ブレーキホースをフレームとフォークに通します。  
製造元の指示に従ってキャリバーを取り付け、調整します。

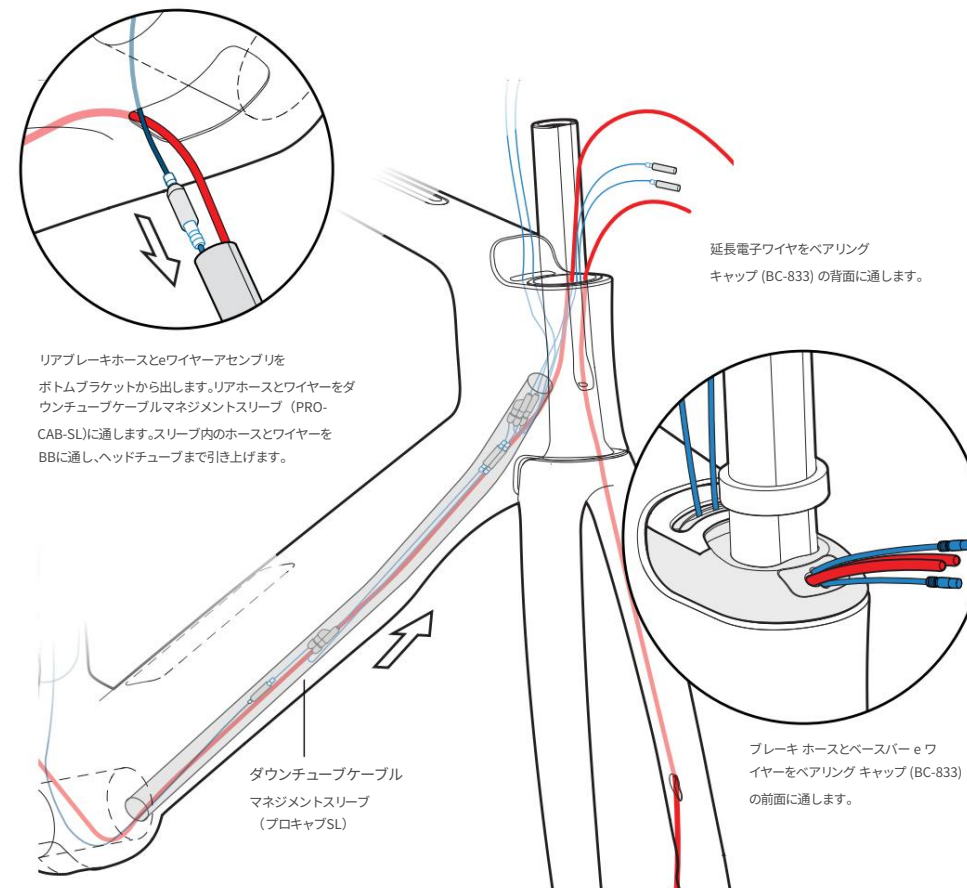
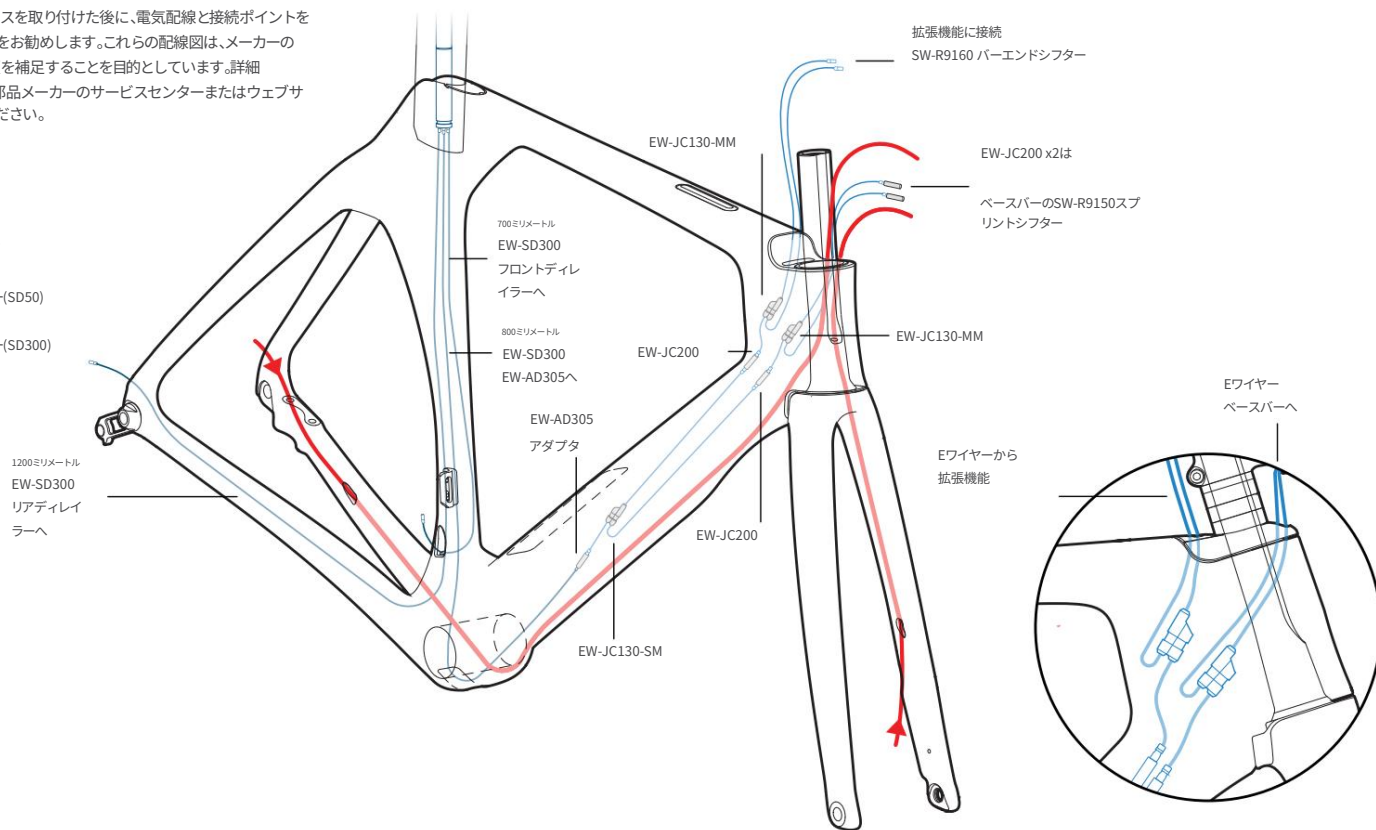




# 電線配線と設置

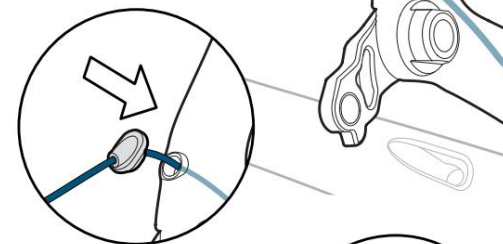
ブレーキホースを取り付けた後に、電気配線と接続ポイントを設置することをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

- ブレーキ
- Eワイヤー(SD50)
- Eワイヤー(SD300)

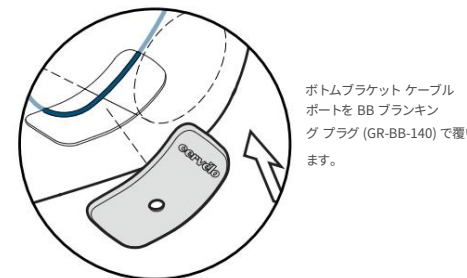
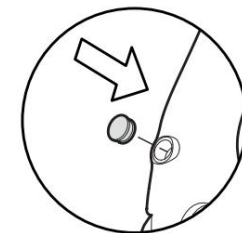


有線シフトシステムの場合は、6mm 穴用の Shimano EW-SD300 グロメット

(Shimano から販売) を取り付けます。



ワイヤレスシフトシステムの場合は、ブランキングプラグ (GR-576)を取り付けます。



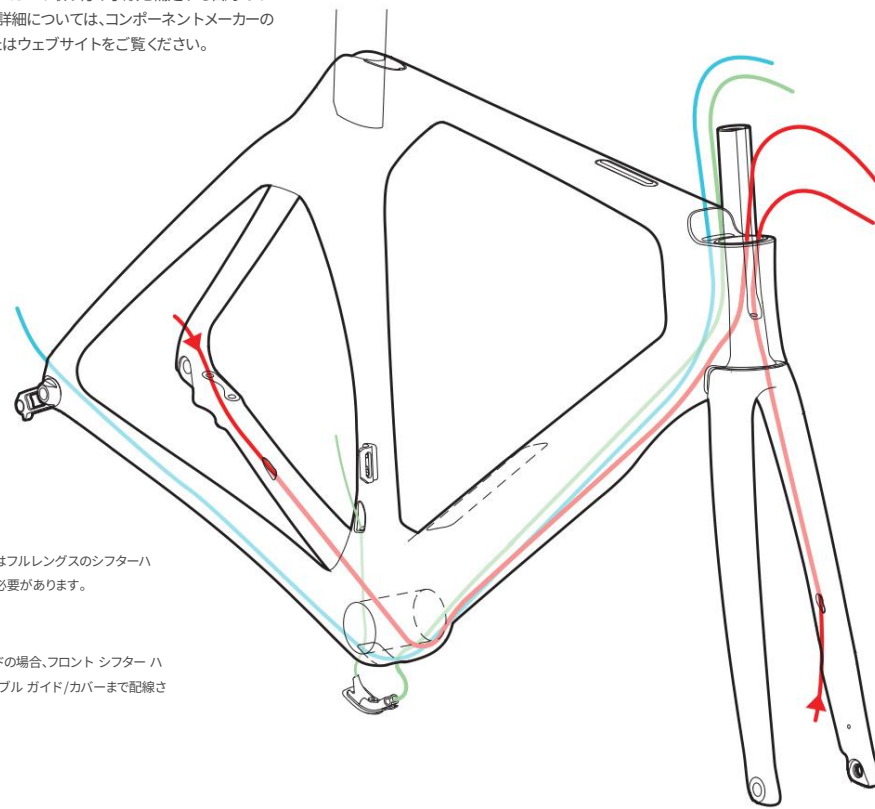
# 機械ハウジングの配線と設置

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的のみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

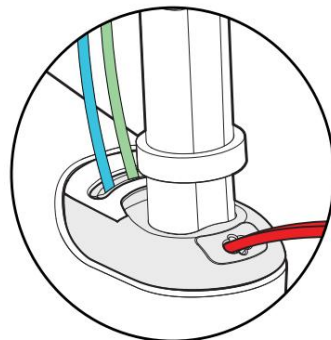
- ブレーキ
- リアシフター\*
- フロントシフター\*\*

\* サーヴェロPシリーズ  
機械式リアシフトにはフルレングスのシフターハウジングを使用する必要があります。

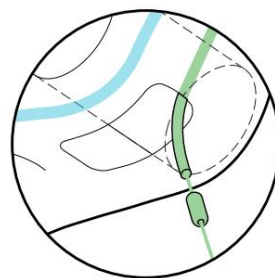
\*\* 2x メカニカルビルドの場合、フロントシフターハウジングはBBケーブルガイド/カバーまで配線されます。



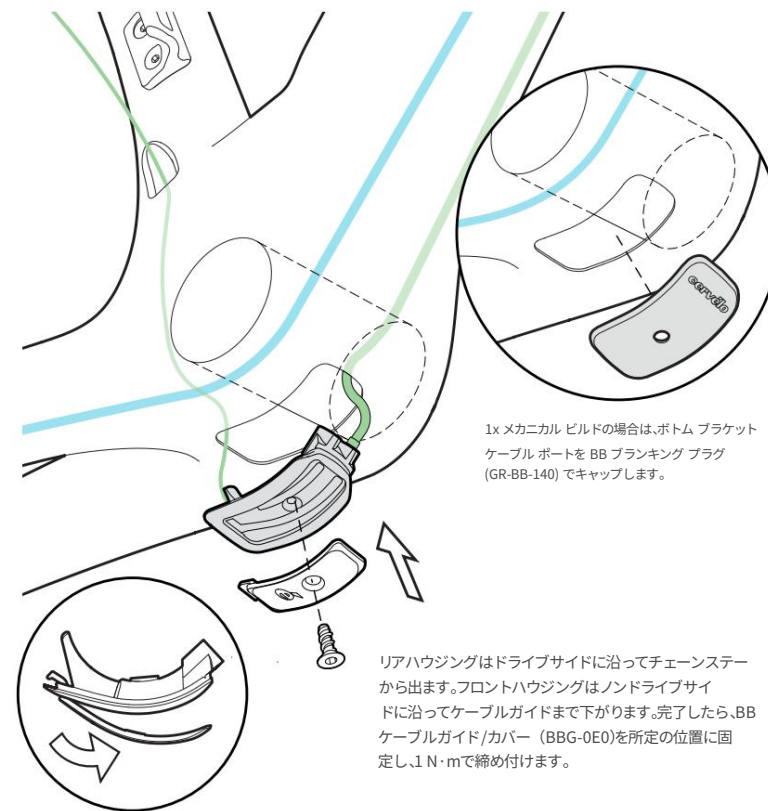
機械式シフター ハウジングをヘッドチューブ背面の  
面のスロットから出し、ベアリングキャップ (BC-833)  
に通します。



ブレーキホースをベアリングキャップ (BC-833)の  
前面に通します。

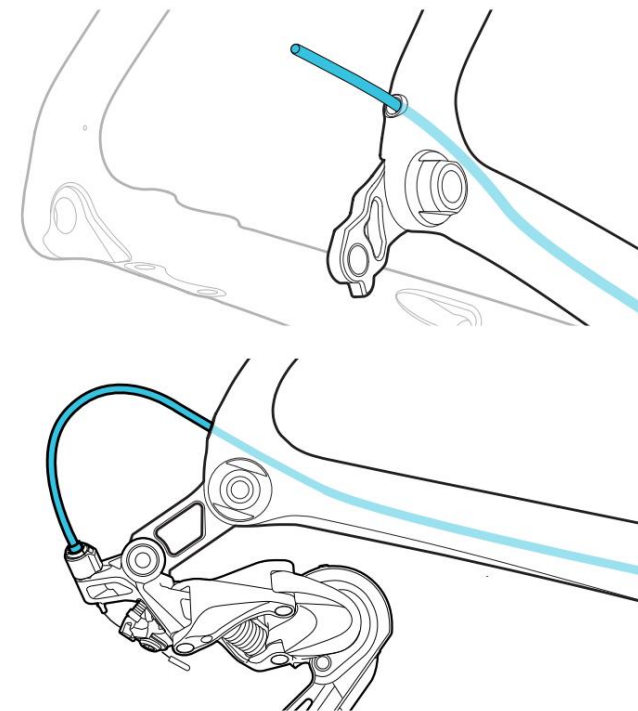


フロントシフターハウジ  
ングのボトムブラケット  
エンドにフェールールを  
追加します。



1x メカニカルビルドの場合は、ボトムブラケット  
ケーブルポートをBBブランキングプラグ  
(GR-BB-140)でキャップします。

リアハウジングはドライブサイドに沿ってチェーンステー  
から出ます。フロントハウジングはノンドライブサイ  
ドに沿ってケーブルガイドまで下がります。完了したら、BB  
ケーブルガイド/カバー (BBG-0E0)を所定の位置に固  
定し、1 N・mで締め付けます。



製造元の指示に従って、リアディレイラーをリアディレイラーハ  
ンガーに取り付け、適切なハウジングの長さにカットし、ケーブルを取り付  
けます。

# フォークの準備と取り付け

1. ベアリングポケットにグリスを塗り、上部および下部のヘッドセットベアリングをフレームに取り付けます。
2. フレームに付属のフォークを完全なヘッドセット、必要なスパーサー、ステムを備えたヘッドチューブ。
3. 必要最低限の圧力をかける  
アセンブリが完全に固定されていることを確認してください。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。
4. フォークを取り外し、最初の印から4mm下の位置にフォークステアラーチューブの明確な印を付けます。この印がステアラーチューブのカットラインとなるため、この測定値が正しいことを確認してください。
5. フォークステアラーをトリミングするには、カーボンの切断に適したのこぎりと切断ガイドのみを使用してください。
6. D型コンプレッションプラグを挿入し、締め付けて固定します。ステムを取り付けた後で最終トルクをかけてください。
7. 下部ベアリングをフォークステアラーの上に置き、ヘッドチューブの下からフレームに挿入します。
8. 上部ベアリング、スプリットリング、ベアリングキャップ、スパーサー、ステムの順にステアラーの上に取り付けます。  
ステムトップキャップは取り付けなくても構いません。
9. トルクレンチを使用して圧縮プラグを 8 N・m に締めます。

10. ステムトップキャップとプリロード固定ネジをステムに取り付けます。プリロードネジは、ヘッドセットの遊びを完全になくし、ベアリングがスムーズに回転する程度に締め付けます（通常1〜2 N・m）。

11. ステムとフォークの固定ネジを 5 N・m で締めます。最大。

## WARNING

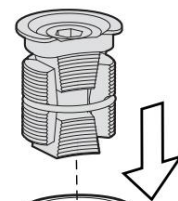
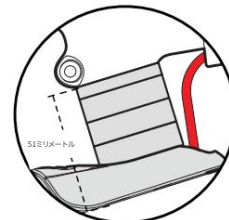
炭素複合材料の切断時に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。

## WARNING

ステアラーチューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる可能性のある故障が発生する可能性があります。

## WARNING

ベアリング トップ キャップを含めたスパーサーの合計最大高が 51 mm を超えないようにしてください。



D型コンプレッションプラグ（FKI-CL005-517A）をフォークステアラーに取り付け、軽く締め付けます。ステムとスパーサーを取り付けた後、8 N・mのトルクで締め付けます。

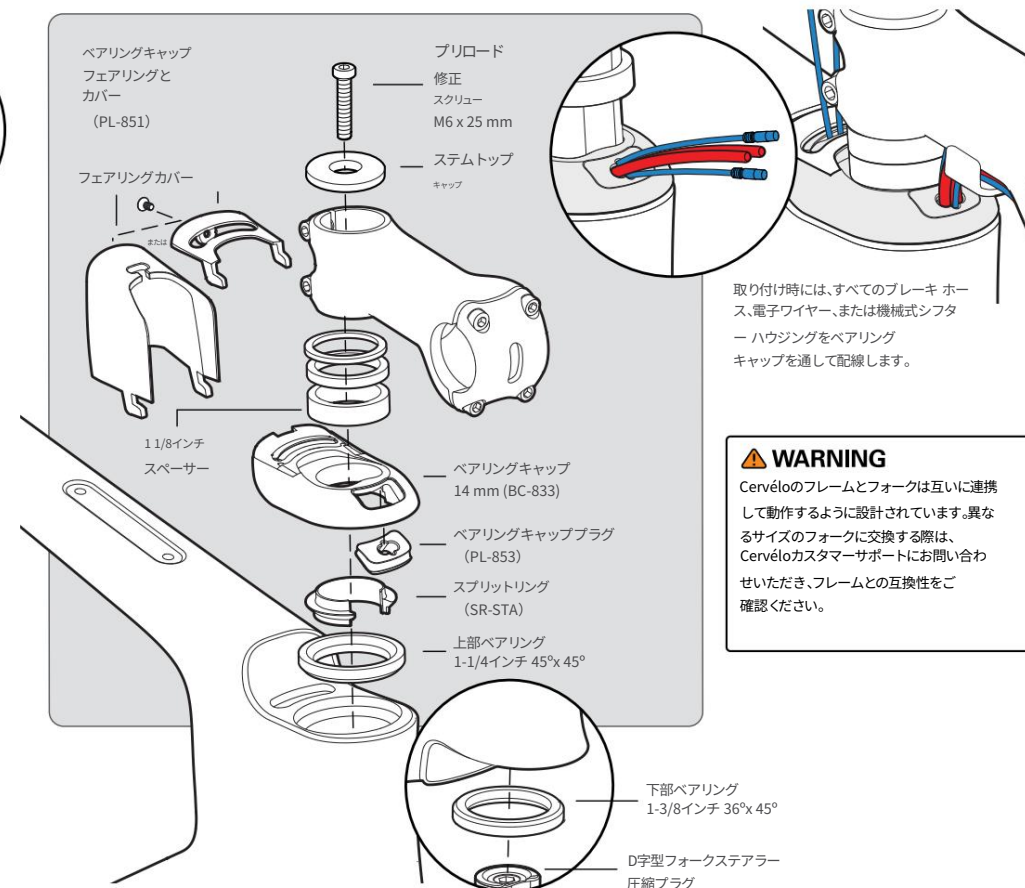
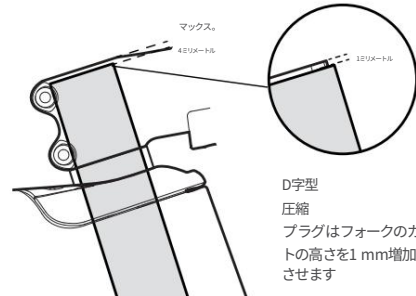
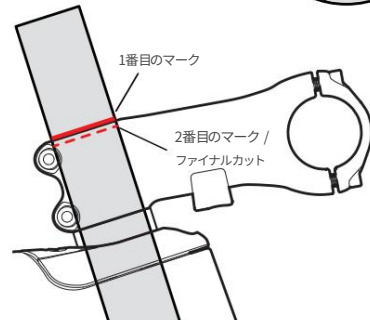


## CAUTION

コンプレッションプラグの構成部品は、自転車の左右で異なります。部品を誤って再組み立てすると、システムのプリロードが失われる可能性があります。正しい組み立て方法については、画像を参照してください。

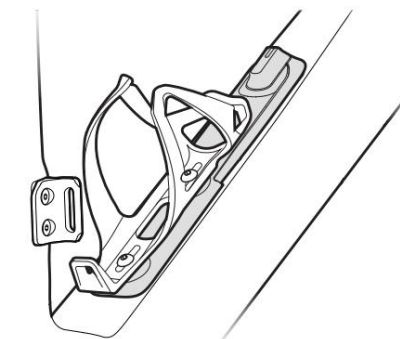
## CAUTION

ステム上のスパーサーの合計が 5 mm を超えないようにしてください。

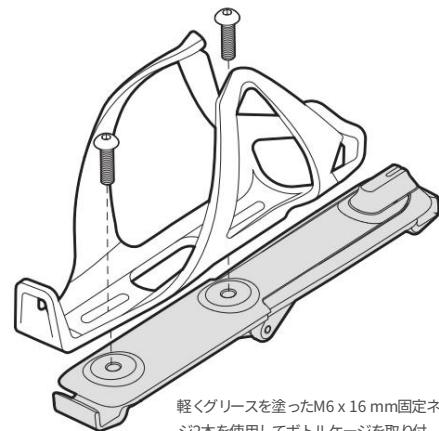




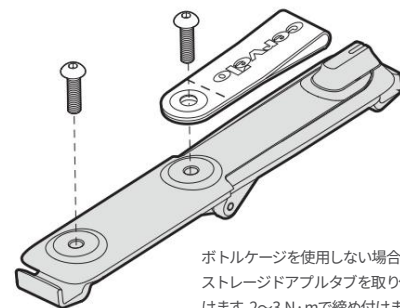
## SB05 インフレイム収納ドア



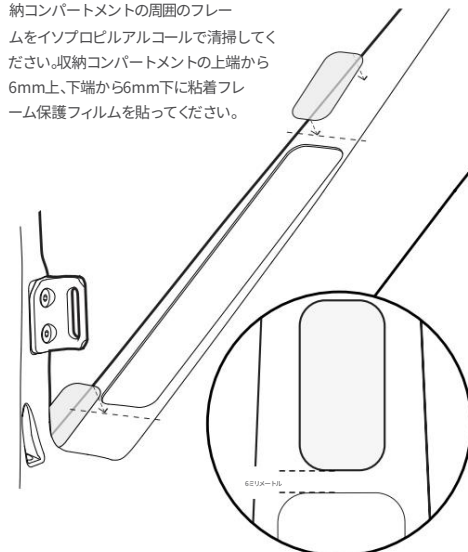
シングルボトルケージ収納ドアは、低いボトルケージ位置または高いボトルケージ位置のどちらにも配置できます。



軽くグリスを塗ったM6 x 16 mm固定ネジ2本を使用してボトルケージを取り付けます。2〜3 N・mで締め付けます。



ボトルケージを使用しない場合は、ストレージドアブルタブを取り付けます。2〜3 N・mで締め付けます。



収納ドアを取り付ける前に、収納コンパートメントの周囲のフレームをイソプロピルアルコールで清掃してください。収納コンパートメントの上端から6mm上、下端から6mm下に粘着フレーム保護フィルムを貼ってください。

### ⚠ CAUTION

すべてのボトルケージがSB05ストレージドアと互換性があるわけではありません。選択したボトルケージがストレージドアの取り外し時にダウンチューブに接触する場合、そのボトルケージはストレージドアと互換性がない可能性があります。互換性のないボトルケージを使用すると、ボトルケージ、フレーム（塗装を含む）、またはストレージドアが損傷するリスクがあり、ストレージドアをフレームから取り外せなくなる可能性があります。

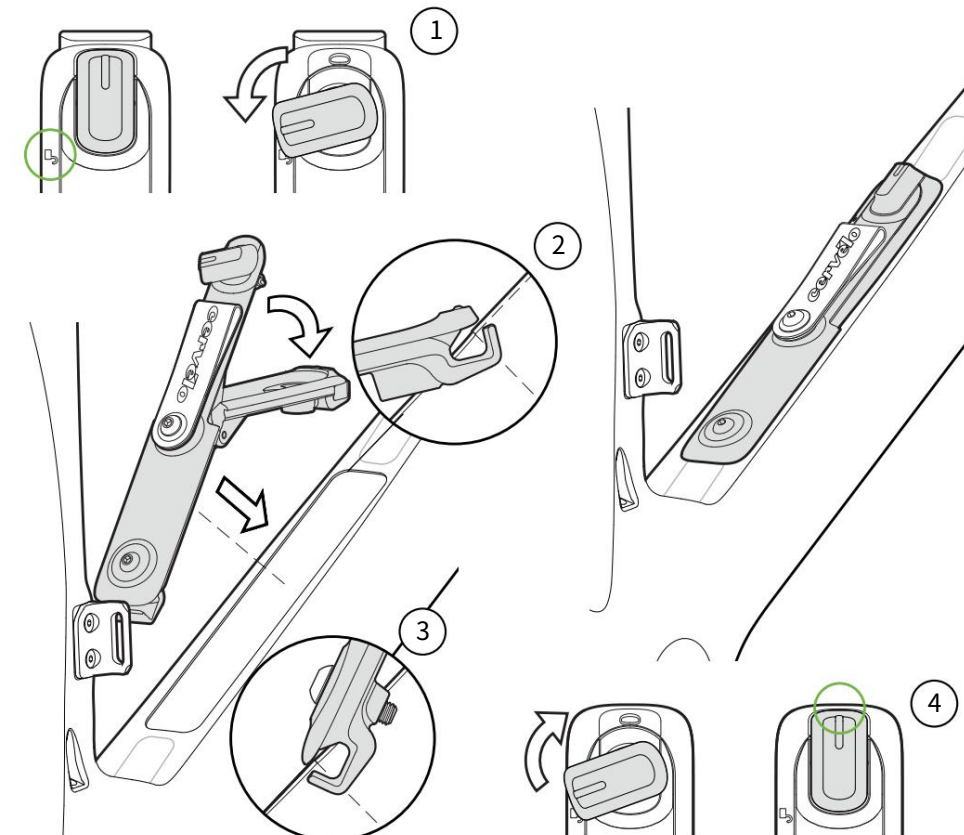
### インストール

1. ラッチをロック解除アイコンの方向に回して折り曲げます  
ストレージドアを開きます。
2. 収納ドアの上部のフック端をダウンチューブ収納コンパートメントに挿入し、上方にスライドします。
3. 下のフック端をダウンチューブに挿入します  
収納コンパートメントを開き、収納ドアがカチッと音がするまで押し下げます。
4. ラッチを上まで回して完了です。  
ロック。

注：取り外すには、ラッチをロック解除アイコンの方向に回します。ストレージドアにボトルケージが取り付けられていない場合は、ブルタブハンドルを使用して上方に引き上げ、ストレージドアをフレームから取り外します。ボトルケージが取り付けられている場合は、ブルタブの代わりにケージを使用してストレージドアを取り外すことができます。

### ⚠ CAUTION

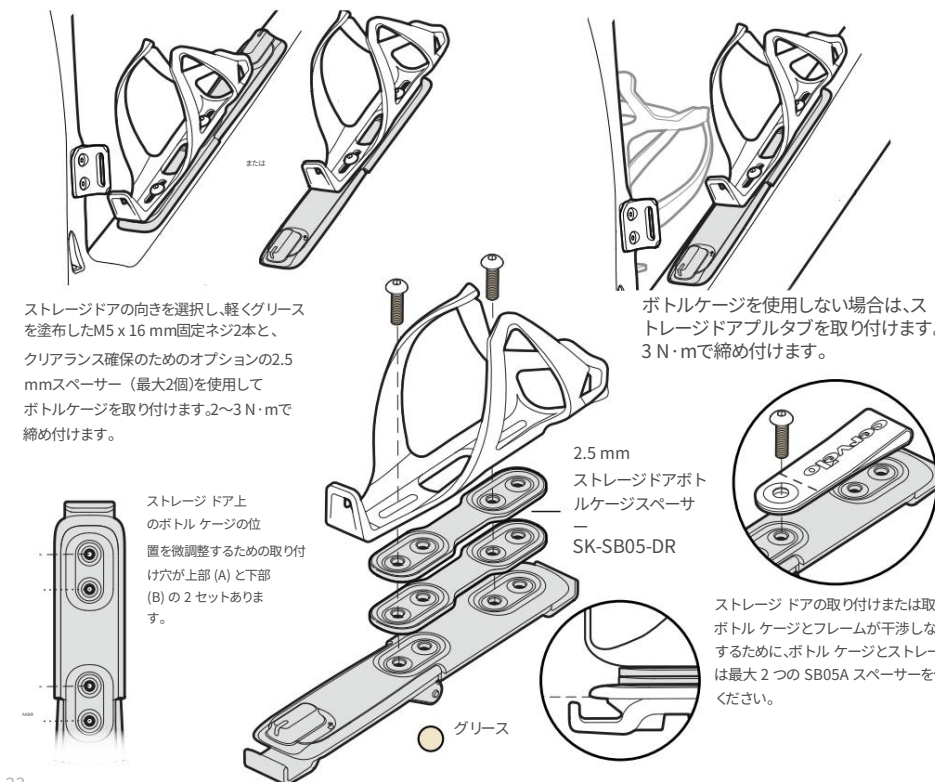
付属のブルタブまたはボトルケージを使用せずにストレージドアを取り外そうとしないでください。ストレージドアのエッジは鋭利なため、フレームからドアをこじ開けようとする恐れがあります。



## SB05A インフレーム収納ドア

1. シングルボトルケージ収納ドアは、低いボトルケージ位置または高いボトルケージ位置に配置できます。

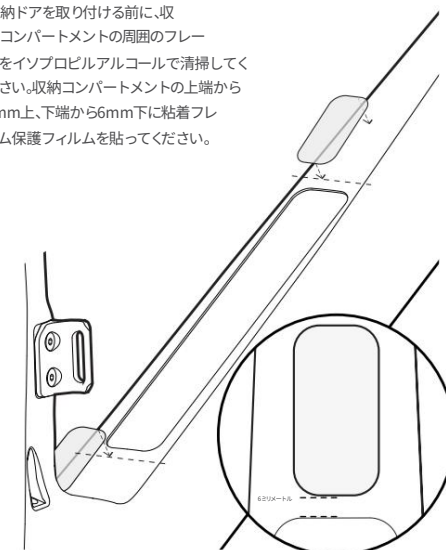
2. デュアルボトルケージ収納ドアは、高いボトルケージの位置に向ける必要があります。



### ⚠ CAUTION

すべてのボトルケージがSB05Aストレージドアと互換性があるわけではありません。選択したボトルケージに最大2個のSB05A 2.5mmスペーサーを取り付けた状態で、ストレージドアの取り外し時にダウンチューブに接触する場合、そのボトルケージはストレージドアと互換性がない可能性があります。互換性のないボトルケージを使用すると、ボトルケージ、フレーム（塗装を含む）、またはストレージドアが損傷するリスクがあり、ストレージドアをフレームから取り外せなくなる可能性があります。

収納ドアを取り付ける前に、収納コンパートメントの周囲のフレームをイソプロピルアルコールで清掃してください。収納コンパートメントの上端から6mm上、下端から6mm下に粘着フレーム保護フィルムを貼ってください。



ストレージドアの取り付けまたは取り外し中にボトルケージとフレームが干渉しないようにするために、ボトルケージとストレージドアの間には最大2つのSB05Aスペーサーを使用してください。

### インストール

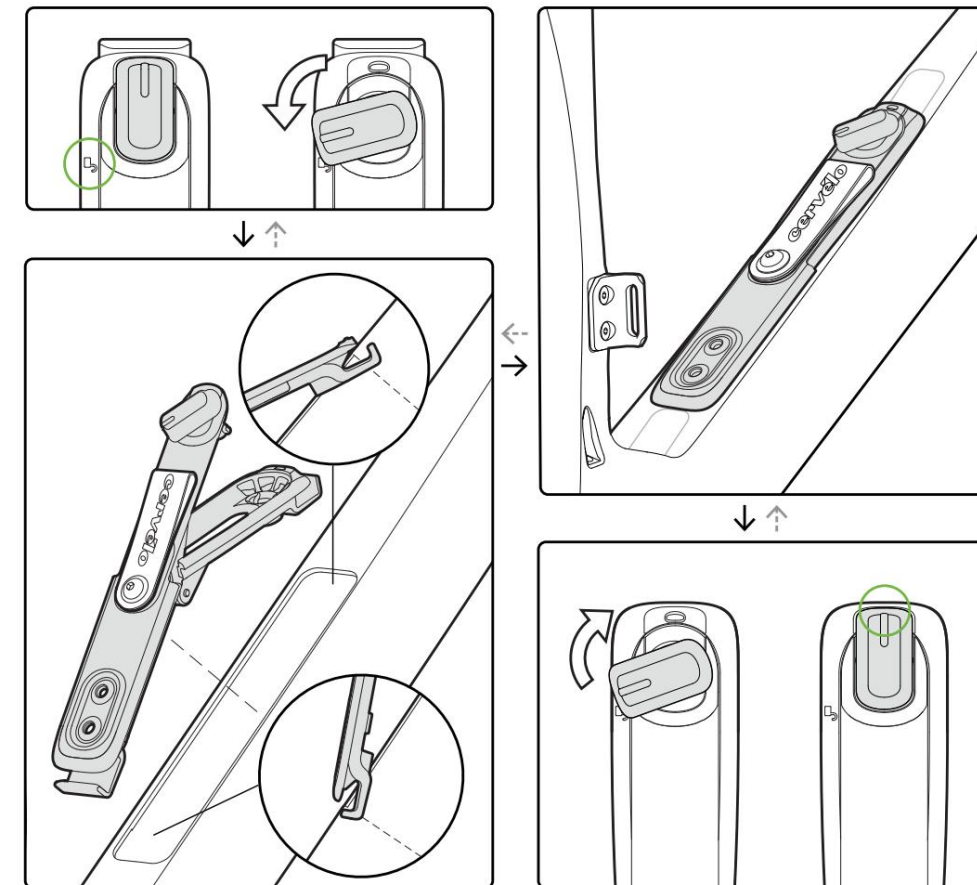
1. ラッチをロック解除アイコンの方向に回して折り曲げます。ストレージドアを開きます。
2. 収納ドアの上部のフック端をダウンチューブ収納コンパートメントに挿入し、上方にスライドします。
3. 下のフック端をダウンチューブに挿入します。収納コンパートメントを開き、収納ドアがカチッと音がするまで押し下げます。
4. ラッチを上まで回して完了です。ロック。

### 除去

1. ラッチをロック解除アイコンの方向に回します。
2. ストレージにボトルケージが取り付けられていない場合、ドアの場合は、プルタブハンドルを使用して上方に引いて、ストレージドアをフレームから取り外します。
3. ボトルケージが取り付けられている場合は、プルタブの代わりにケージを使用して収納ドアを取り外すことができます。

### ⚠ CAUTION

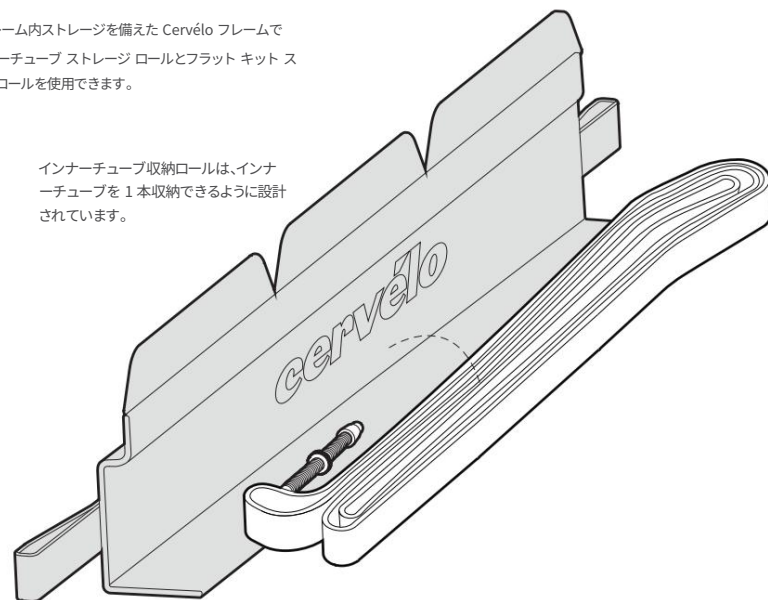
付属のプルタブまたはボトルケージを使用せずにストレージドアを取り外そうとしないでください。ストレージドアのエッジは鋭利なため、フレームからドアをこじ開けようとすると怪我をする恐れがあります。



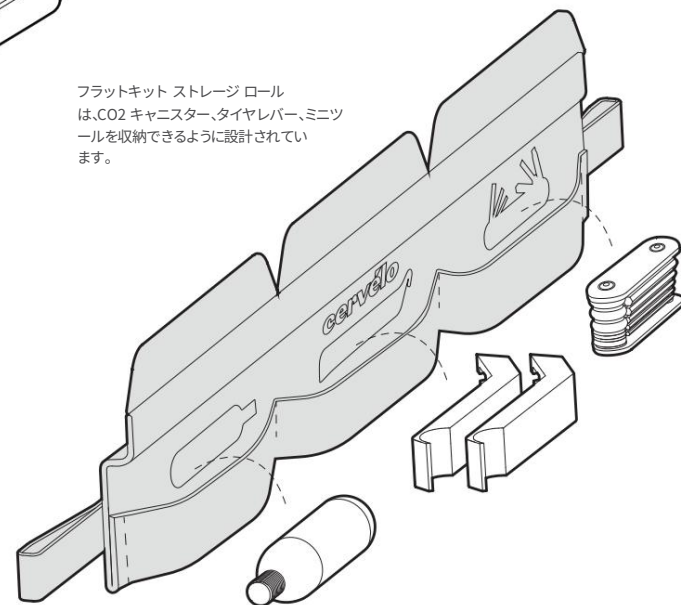
## SB05 フレーム内収納ロール

SB05 フレーム内ストレージを備えた Cervélo フレームでは、インナーチューブ ストレージ ロールとフラット キット ストレージ ロールを使用できます。

インナーチューブ収納ロールは、インナーチューブを 1 本収納できるように設計されています。

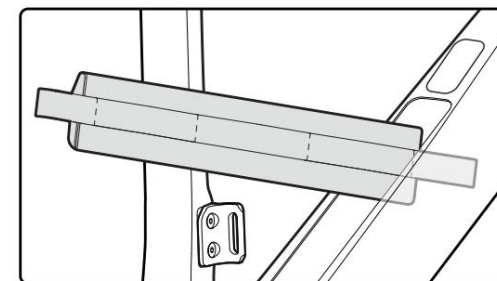


フラットキット ストレージ ロールは、CO2 キャニスター、タイヤレバー、ミニツールを収納できるように設計されています。



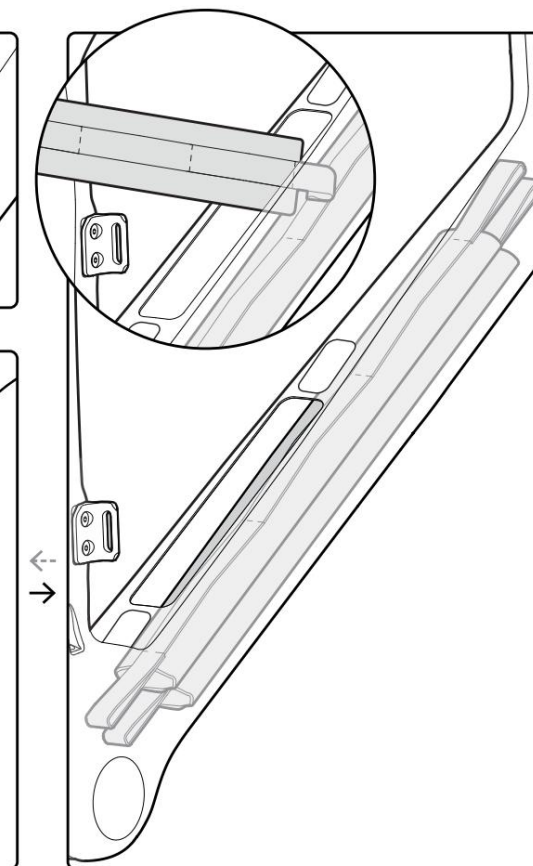
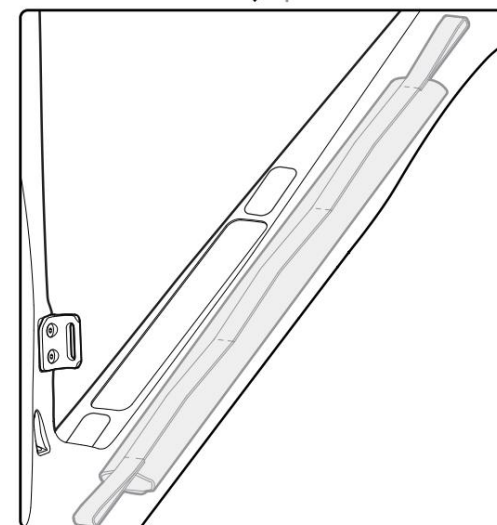
### インストール

1. 収納ドアを取り外します。最初のロールを収納部に挿入します。
2. 最初のロールを、プルタブ/ハンドル側を上に向けて、ダウンチューブ内に平らに置かれるように配置します。
3. 同じ手順を繰り返して、2つ目の収納ロールを取り付けます。収納ドアを再度取り付けます。



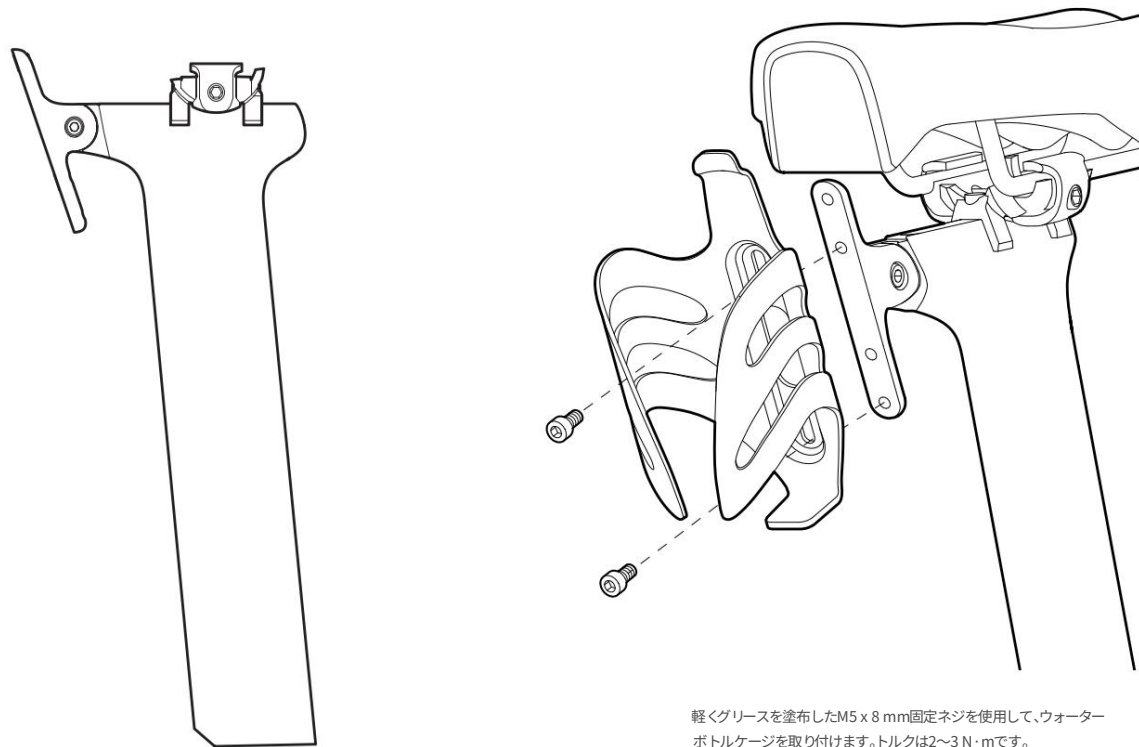
### 除去

1. 収納ドアを取り外します。最初のロールのタグ/ハンドルを掴み、収納部から取り出します。
2. 同じ手順を繰り返して、2つ目の収納ロールを取り外します。収納ドアを取り付けます。





## シートポストアセンブリ

SP23 シートポスト  
(SP-SP23-LB)

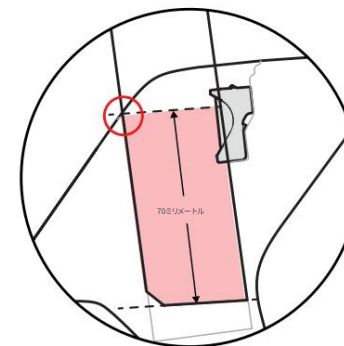
## シートポストの切断手順

注 :すべてのCervélo Aeroシートポストは、後端に45度の面取りが施されていることが必須です。取り付け後にトリミングが必要な場合は、以下の方法を推奨します。

1. シートポストの挿入必要最小値 70 mm を維持するように注意しながら慎重に測定し、薄い色のグリースペンシルを使用してシートポストの切断位置を正確にマークします。
2. シートポストを Park Tool SG-7.2 ソーガイド (または同等品) に挿入し、ツールのブレードガイドを通してカットオフラインがはっきりと見えるようにします。
3. カーボン複合材の切断専用設計されたブレード (または 1 インチあたり 32 個以上の歯を持つ細かい歯のブレード) を使用して、シートポストの切断に進みます (Park Tool の指示に従ってください)。
4. 細かい目のサンドペーパーを使って、ほつれを丁寧に取り除きます。切断端にバリやバリが残らないように、ソーガイドクランプを切断端から約 10cm 離して配置してください。
5. グリースペンシルを使って、シートポストの後端に切断面から 10mm の点を、そしてシートポストの後ろから 10mm の点を下端に印を付けます。この2点を結んで45度のガイドラインとなる線を引きます。
6. グリースペンシルで印をつけた部分に鋸の刃を当て、慎重に切り込みを入れます。シートポストの後端に 45 度の面取りが切り込まれます。
7. 端を丁寧に研磨し、カーボンアセンブリコンパウンドを塗布した後、フレームに戻します。

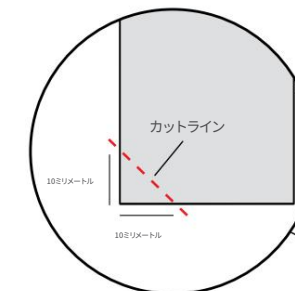
## ⚠ WARNING

トリミングが必要な場合、最終的な長さはフレーム内にシートポストが最低 70 mm 残るようにする必要があります。  
この要件を満たさない場合、保証ポリシーの対象外となるフレームの損傷、または重傷や死亡につながる可能性があります。



シートポストの最小挿入寸法70mmは、フレームの後端から測定する必要があります。

シートポストインターフェース。

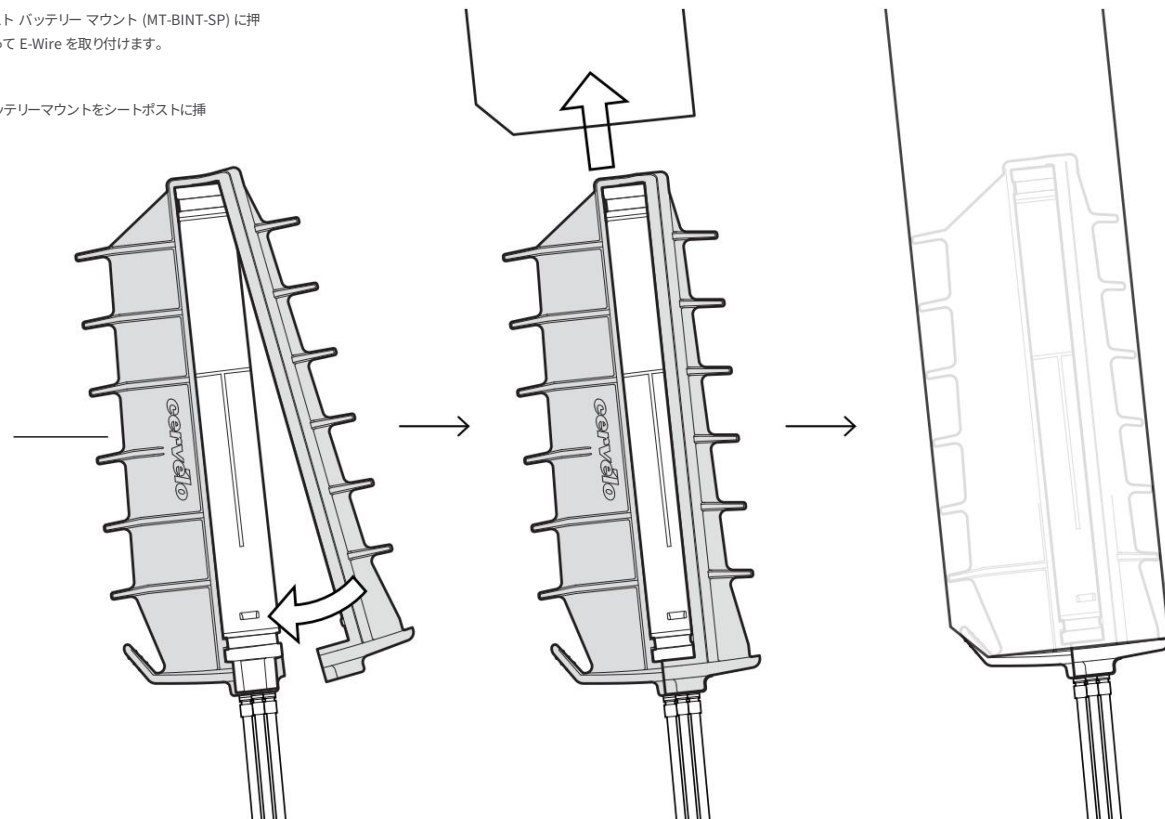


## シートポストDI2バッテリーの取り付け

DI2 バッテリーをシートポスト バッテリー マウント (MT-BINT-SP) に押し込み、製造元の指示に従って E-Wire を取り付けます。

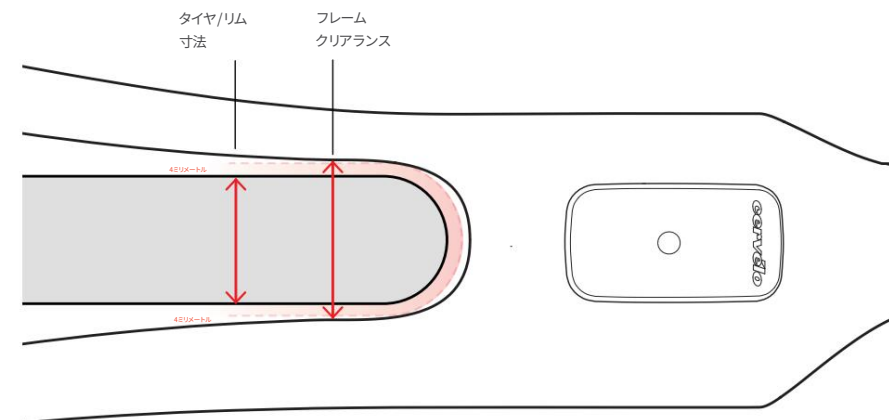
組み立てたバッテリーとバッテリーマウントをシートポストに挿入します。

Pシリーズシートポスト  
バッテリーマウント  
(MT-BINT-SP)



## タイヤ/リムクリアランス

Cervélo/バイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



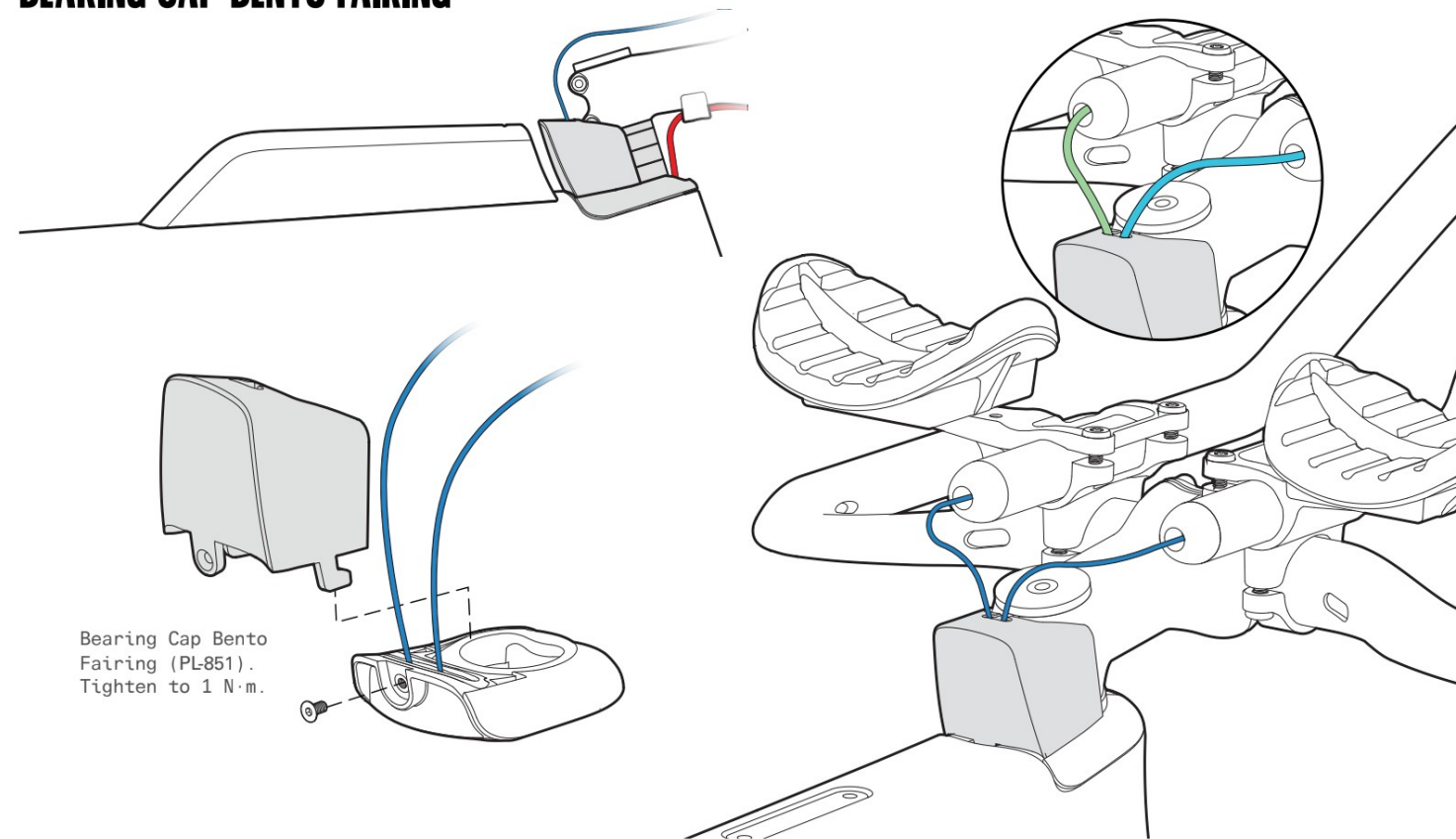
1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. これら 2 つの数値のうち小さい方 (フレーム クリアランス) から 8 mm (片側 4 mm) を差し引いて、最大許容タイヤ/リム寸法を決定します。
4. タイヤをホイールに取り付けて完全に膨らませた状態で、リムまたはタイヤの幅の大きい方を測定し、計算された許容タイヤ/リム寸法の幅よりも小さいことを確認して、適合することを確認します。
5. 4 mm の六角レンチが最小の隙間に入らない場合は、タイヤのクリアランスが不十分です。

### ⚠ WARNING

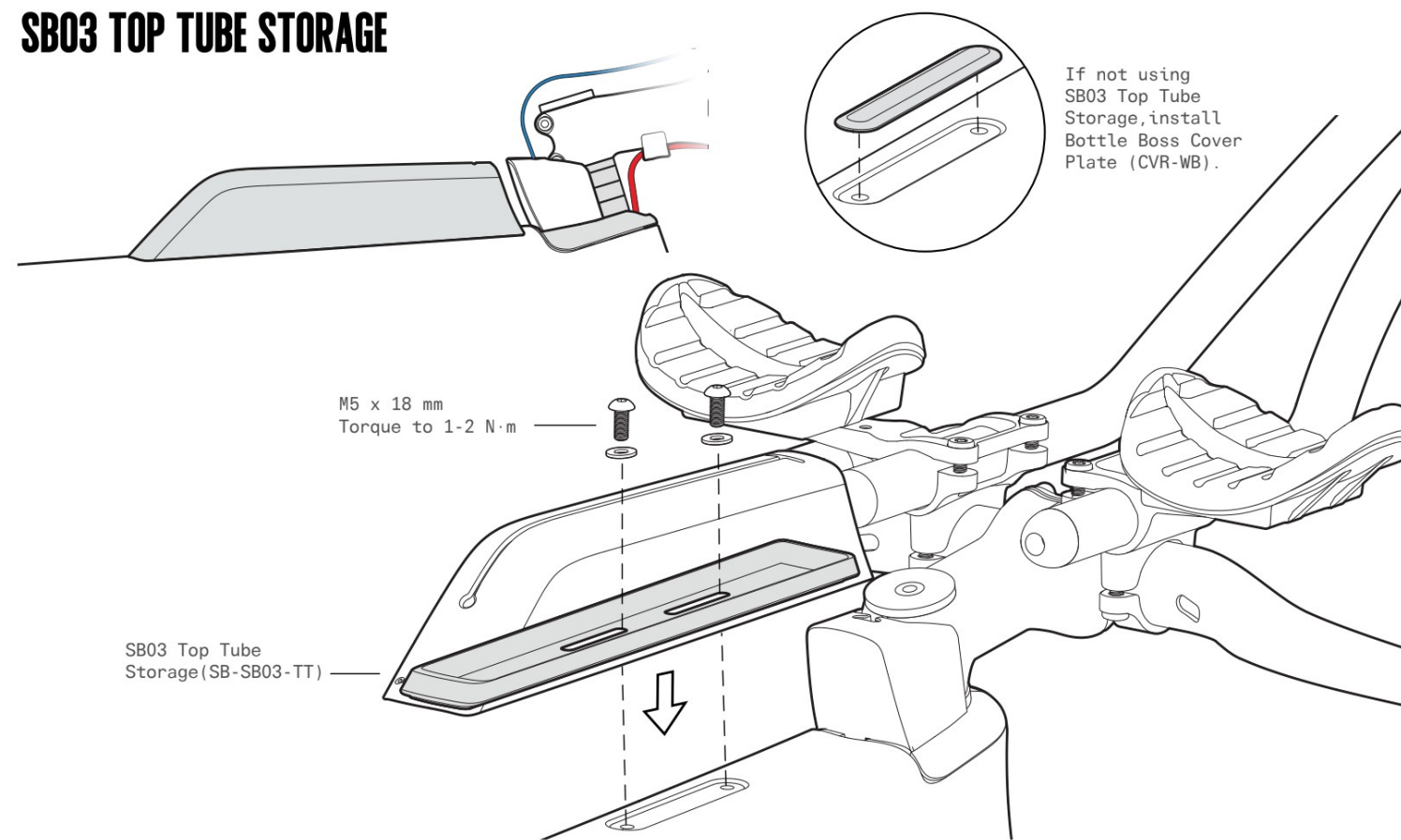
タイヤまたはリムとフレームまたはフォークが接触すると、走行中に制御を失い、重傷や死亡につながる可能性があります。

これらのガイドラインに従わなかった場合、Cervélo 限定生涯保証の対象外となるフレームの損傷が発生する可能性があります。

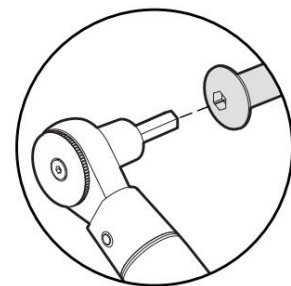
## BEARING CAP BENTO FAIRING



## SB03 TOP TUBE STORAGE

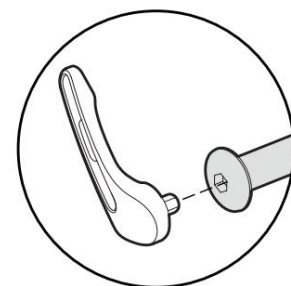
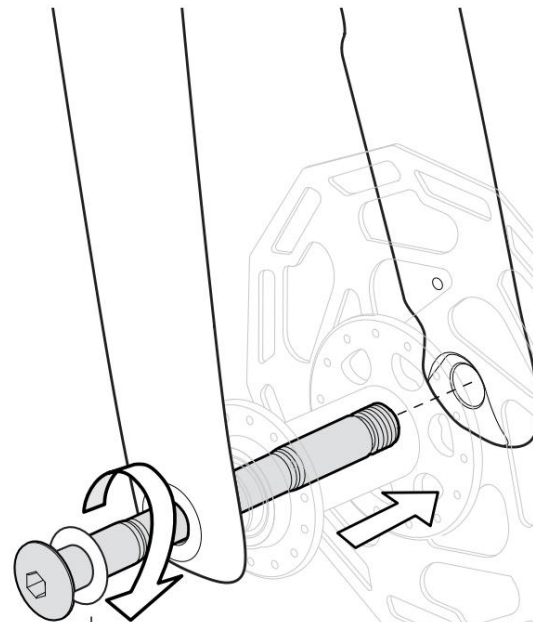


## エアロスルーアクスルの取り付け



6mm六角レンチ/トルクレンチ

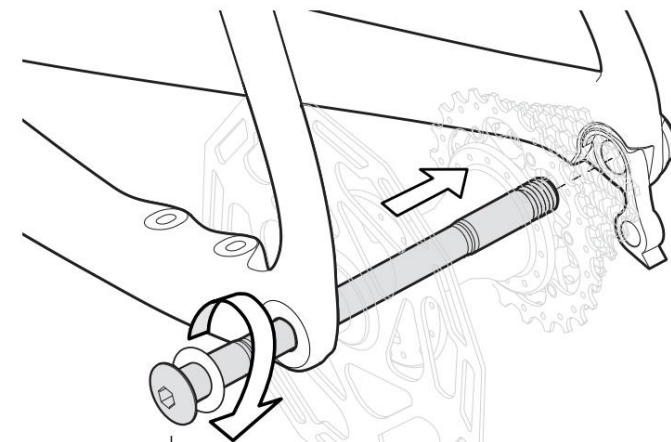
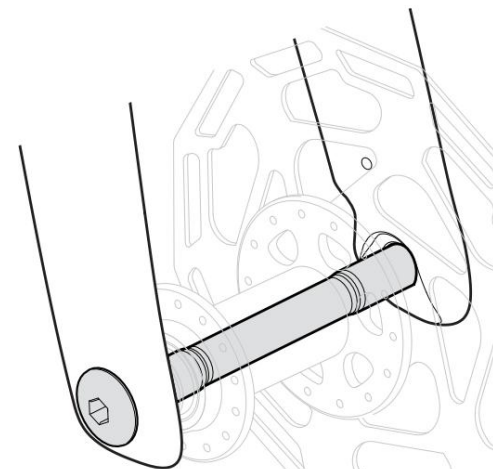
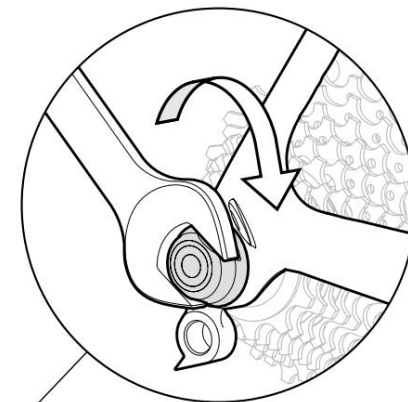
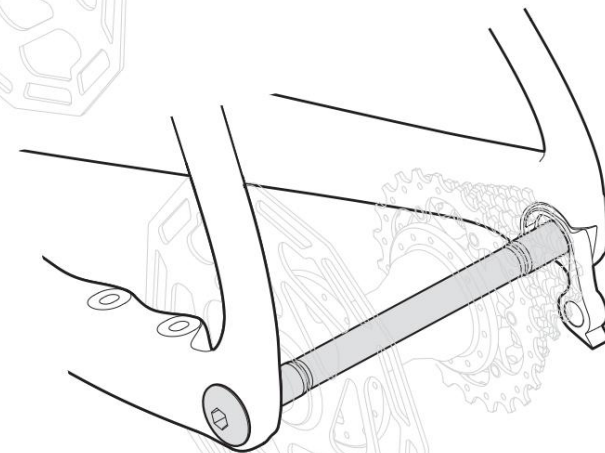
または

サーヴェロエアロ  
スルーアクスル付き  
取り外し可能なハンドル  
(QRA-AERO2-Fおよび  
QRA-AERO2-R)取り付ける場合はスルーアク  
スルワッシャーがあることを確  
認してください。フロントアクスルを12~15 N・m  
に締めます。

ホイールを固定するには、グリースを塗布したアクスルをドロップアウトとホイールハブに通し、アクスルのネジ端をネジ付きインサートに合わせます。位置が合つかみ合ったら、アクスルをインサートのネジ部分に時計回りにねじ込み、12~15 N・mでしっかりと締め付けます。


**⚠ WARNING**

ライダーの安全を確保するためには、Cervelo Aero Thru-Axleを正しく取り付けることが不可欠です。正しく取り付けないと、ライダーが重傷を負ったり死亡したりする可能性のある事故につながる可能性があります。

取り付ける場合はスルーアク  
スルワッシャーがあることを確  
認してください。フロントアクスルを12~15 N・m  
に締めます。リアディレイラーハンガーナットを17mmレン  
チで最終締め付けします。トルクは12~15N・m  
です。この締め付けは初期組み立て時のみ行うため、  
追加の調整は必要ありません。



# Pシリーズ自転車の用途

**WARNING**  
自転車とその用途を理解しましょう。目的に合わない自転車を選ぶと危険です。間違った使い方をすると危険です。

あらゆる用途に適した自転車は存在しません。販売店は、用途に合った最適な自転車を選ぶお手伝いをし、その限界を理解するお手伝いをいたします。

自転車には多くの種類があり、それぞれの種類の中にもさまざまなバリエーションがあります。

マウンテンバイク、ロードバイク、レーシングバイク、ハイブリッドバイク、ツーリングバイク、シクロクロスバイク、タンデムバイクなど、様々な種類があります。また、複数の機能を組み合わせた自転車もあります。例えば、トリブルクランクを搭載したロードバイクとレーシングバイクの融合体です。これらの自転車は、ツーリングバイクのようなローギア比とレーシングバイクのようなクイックなハンドリングを備えています。ツアー中に重い荷物を運ぶのには適していません。そのため、ツーリングバイクを選ぶのがおすすめです。

それぞれの自転車の種類には、特定の目的に合わせて最適化できるものがあります。自転車店を訪れて、興味のある分野の専門家を見つけるください。自分で調べてみましょう。タイヤの選択など、一見小さな変更でも、自転車の性能はある程度向上したり低下したりすることがあります。

目的。

注:使用条件は一般化されており、変化しています。

自転車の使用方法について、販売店または Cervélo カスタマー サービスにご相談ください。

注意： Cervéloの自転車は、自転車、ライダー、荷物の合計重量が100kgまでとなるようテストされています。コンポーネントにはそれぞれ異なる重量制限があり、交換すると自転車の安全最大重量が変わる場合があります。お客様の自転車に適したコンポーネントについては、販売店またはCervéloカスタマーサービスにお問い合わせください。

## 最大重量制限 - Cervélo Pシリーズ

ライダー	194ポンド	88キロ
ギア*	11ポンド	5キロ
合計	220.5ポンド	100キロ

※シートバッグ/ウォーターボトル/弁当バッグ/ハンドルバーボトル/収納マウントのみ

## 高性能道路-条件1

タイヤが地面との接触を失わない舗装路面を走行するために設計された自転車。

舗装道路のみでの走行を目的としています。

オフロード、シクロクロス、ラックやバニアを装着したツーリング、またはチャイルドシートやトレーラーの取り付けには適していません。

トレードオフ：素材の使用は、軽量性と特定の性能を両立させるよう最適化されています。(1) これらのタイプのバイクは、アグレッシブなレーサーや競技志向のサイクリストに、比較的短い製品寿命でパフォーマンス上の優位性を提供することを目的としていること、(2) アグレッシブでないライダーはより長いフレーム寿命を享受できること、(3) フレームの重量を増やして寿命を延ばすよりも、軽量（フレーム寿命は短い）を選ぶこと、(4) ここみに強い、あるいは重量が増す頑丈なフレームよりも、軽量を選ぶことを理解する必要があります。

非常に軽量なフレームは、頻繁な点検が必要です。これらのフレームは、衝突時に損傷したり破損したりする可能性があります。過酷な使用に耐えたり、頑丈な作業用として設計されているわけではありません。

# Pシリーズトルク仕様

ねじ留め具の正しい締め付けトルクは、安全のために非常に重要です。常に正しいトルクで締め付けてください。このマニュアルの指示とコンポーネントメーカーの指示に矛盾がある場合は、販売店またはCervéloカスタマーサービスにご相談ください。締め付けがきつすぎると、ねじが伸びて変形する可能性があります。締め付けが緩すぎると、ねじが動いて疲労する可能性があります。どちらの場合も、ねじの突然の破損につながる可能性があります。

正しく校正されたトルクレンチのみを使用してください。

自転車の重要なファスナーを締め付けます。正確な結果を得るには、トルクレンチメーカーの指示に従って設定と使用方法をよく読んでください。ご自身で調整を行う前に、必ずすべての関連文書を読み、適切な工具を揃えてください。


成分	トルク(N・m)	注記
フレームとフォーク		
フロントディレイラーマウント	3 N・m	固定ネジにLoctite 243を塗布します。
ボトムブラケット - プレスフィット	35〜50 N・m	フレーム内のBBシェルの内側を清掃し、グリースを塗布します。BBカップの外側にもグリースを塗布します。BBプレスツールを使用して、非駆動側（NDS）カップをフレームのNDS側に面一になるまで押し込みます。DSカップをフレームの駆動側に取り付け、NDSカップに接触するまで手で押し込みます。トルクレンチを使用して、BBのDSカップをフレームと面一になるまで締め付けます。
リアディレイラーハンガー固定ナット	12〜15 N・m	RDHのネジ山にグリースを塗り、固定ナットを指で締めてドロップアウトに取り付けます。リアアクスルを取り付け、2回転締めて位置を合わせます。RDH固定ナットを規定トルクで締めます。
ウォーターボトルケージボルト	2 N・m	固定ネジに軽くグリースを塗ります。
トップチューブ収納	1〜2 N・m	固定ネジに軽くグリースを塗ります。

小売業者は適切なツールと経験を有しており、調整が確実に正しく行われるようにするため、以下の調整は小売業者に実行させることをお勧めします。

ボルトを組み立てて締め付ける前に、すべてのねじ山に高品質の非リチウム系グリース（Park Tool HPG-1または同等品）をたっぷりと塗布してください。ただし、ボルトにLoctite®ねじロック剤が塗布されている場合は除きます。すべてのボルトにはグリースまたはLoctiteのいずれかを塗布してください。両方を塗布することは絶対に避けてください。すべてのねじ山付きファスナーの締め付けには、特定のトルク設定に適した目盛りのトルクレンチの使用を強くお勧めします。

Cervéloは、カーボンアセンブリコンパウンド/摩擦ベアスト（ダイナミックス）組立用コンパウンドカーボンまたは同等品）

シートポストとフレーム、ステムとフォーク、ハンドルバーとステムの接合部など、カーボンファイバーへのクランプ部分すべてに使用できます。このベアストを使用する利点としては、腐食電位の低減と、所定の荷重を支えるために必要なクランプ力の低減が挙げられます。ベアストをクランプ部分のカーボン表面に均一に塗布し、以下の推奨事項に従って該当するボルトを締め付けてください。

**WARNING**  
以下のリストと、元の装備コンポーネントの推奨トルク値に関するサプライヤーの資料との間に不一致または矛盾がある場合は、取り付け前に Cervélo カスタマー サポートに連絡して、必要なトルクの確認と説明を受けてください。

成分	トルク(N・m)	注記
フレームとフォーク		
フォークステアラー圧縮プラグ	8 N・m	固定ネジに軽くグリスを塗り、推奨トルクで締めます。
幹		
ステムからフォークまでのステアラーチューブ	5 N・m	固定ネジに軽くグリスを塗り、均等に交互に推奨トルクまで締めます。
ステムからアルミハンドルバー	6 N・m	固定ネジに軽くグリスを塗り、均等に交互に推奨トルクまで締めます。
ハンドルバー		
ブレーキレバー（ハンドルバーへ）	6〜8 N・m	製造元の指示を参照してください。
アクセサリマウント - フロント	2 N・m	固定ネジに軽くグリスを塗ります。
ベースバーへの延長マウント	7 N・m	製造元の指示を参照してください。
延長マウントの延長	4 N・m	製造元の指示を参照してください。
シートポストクランプ（フレームからシートポストへ）		
ウェッジクランプ - 丸型（前面）	8 N・m	シートポストとフレームの間にカーボンアセンブリコンパウンドを使用します。
サドルクランプ（シートポストヘッドボルト） - Aero Tri/TT		
サドルクランプアセンブリベースからシートポストスラグまで6〜7N・m		ボルトのネジ部に軽くグリスを塗ります。
サドルクランプボルト（レールバインダーボルト）	12 N・m	ボルトのネジ部に軽くグリスを塗ります。
シートポストボトルケージマウント（シートポストスラグまで）4 N・m		
ボトルケージからシートポストへのマウント	2〜3 N・m	ボルトのネジ部に軽くグリスを塗ります。
ホイール		
サーヴェロ エアロ スルーアクスル（取り外し可能なハンドル付き）12	〜15 N・m	6 mm 六角レンチタイプのレンチまたは取り外し可能なハンドルを使用する必要があります。
他の		
SB05A 収納ドア用ウォーターボトルケージボルト	2〜3 N・m	固定ネジに軽くグリスを塗ります。
ペダル	25〜35 N・m	製造元の指示を参照してください。

## Pシリーズフレーム詳細

Pシリーズ（FM156）	
バイク名	Pシリーズ
モデル年	2025
シリアル番号コード	SN156
フレームコード	FM156
フォークコード	FK156
ブレーキマウントタイプ	フラットマウントディスク
チェーンステ어의高さ（フラットマウント）	30ミリメートル
フレームサイズ	48/51/54/56/58/61
ホイールサイズ	700センチ
BBタイプ	BBRight
ヘッドセットの種類	一体型1-1/4インチ×1-3/8インチ
最大チェーンリングサイズ 1x	68t、チェーンライン45mm
最大チェーンリングサイズ 2倍	57t、チェーンライン44.5 mmまたは45 mm

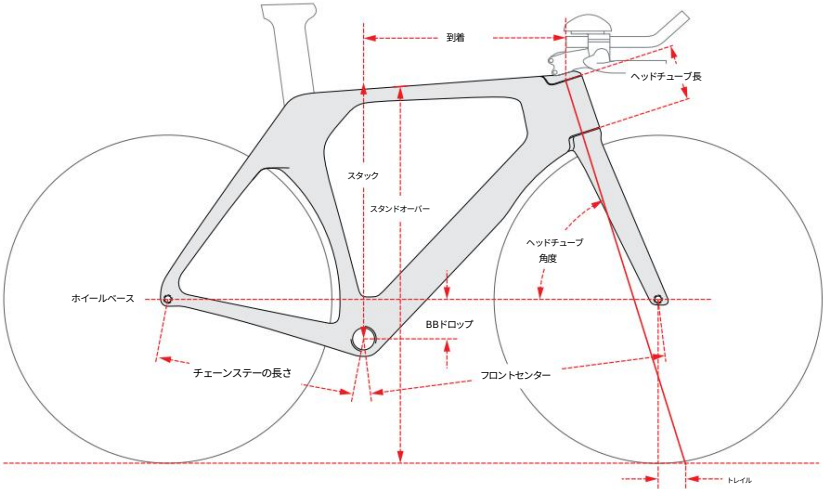
\* タイヤの測定は、タイヤがリムに取り付けられて空気が入った状態で、タイヤの最も広い部分で行います。タイヤとフレームまたはフォーク要素の間には 4 mm の距離が必要です。

Pシリーズ（FM156）	
上部ヘッドセットベアリング寸法	1-1/4インチ、34 x 46.8 x 7.45° x 45°
下部ヘッドセットベアリング寸法	1-3/8インチ、37 x 48.9 x 6.5、36° x 45°
シートポスト	SP-SP23-LB
シートポストクランプ	SPC-0E0P
RDハンガー	DRH-WMN112
RDハンガー（シマノDM）	DRH-HR
FDハンガー	FDM-0E0
フロントアクスル寸法	長さ127 mm、M12 x 1.5、ねじ長さ11 mm、100 x 12間隔用
リアアクスル寸法	長さ170.5 mm、M12 x 1.75、ねじ長さ12 mm、142 x 12間隔用
最大タイヤ幅（実寸）	34 mm（4 mmのクリアランス付き）*



Pシリーズフレームジオメトリ

Pシリーズ (FM156)48 cm 51 cm 54 cm 56 cm 58 cm 61 cm						
リーチ   mm	378	395	409	422	434	443
スタック   mm	494	515	531	549	569	587
ボトムブラケットドロップ   mm	80	80	80	80	80	80
チェーンステー長さ   mm	405	405	405	405	405	405
ヘッドチューブ角度71		72.5度	72.5度	72.5度	72.5度	72.5度
フォークオフセット   mm 52		43	43	43	43	43
フロントセンター   mm 581		583	602	620	638	653
ヘッドチューブ長   mm	87.8	101.7	118.4	137.3	158.3	177.2
ホイールベース   mm 973		974	993	1012	1030	1045
スタンドオーバーハイト   mm	734	755	770	787	806	823



機械的安全性チェック

注：Cervéloでは、新しい自転車をご使用後30〜60日で、正規販売店に初回点検をご依頼いただくことをお勧めしています。これは、新しい自転車によくある、馴染んだり、伸びたり、あるいは自然にへたったりした部品を点検するための重要なサービスです。初回点検では、Cervélo自転車の安全性、性能、耐久性を長期にわたって向上させるために必要な調整を行います。

毎回乗る前に:

- 1. フレームとフォークに、傷、ひび割れ、へこみ、変形、変色など、負荷のかかった跡がないか確認してください。チェーンステアーガードを点検し、正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- 2. 前輪がフォークに、後輪がフレームにしっかりと取り付けられていることを確認します。
- 3. 車輪がまっすぐ回転することを確認する。フォークとスイングアーム。ホイールはブレーキの擦れがなく、スムーズに回転するはずです。
- 4. タイヤの空気圧が推奨範囲内であることを確認する。タイヤとリムの範囲。
- 5. ブレーキレバー、キャリパー、ローター、ブレーキパッド、ブレーキラインなど、ブレーキを点検します。取り付けボルトが正しく締め付けられていることを確認してください。

ブレーキレバーを握って、キャリパーが閉じて自転車が前後に動かないことを確認してください。ブレーキレバーが接触してはいけません。ハンドルバーを最大限まで押し込んだ場合でも、

- 6. ハンドルとステムが正しく取り付けられていることを確認する。前輪に対して位置と位置合わせが行われます。ステムボルトが正しく締められているか確認してください。傷、ひび割れ、へこみ、変形、変色など、ストレスの兆候がないか検査します。
- 7. サスペンションを循環させて、正常に機能することを確認します。支柱にゴミなどがある場合は清掃してください。サスペンション システムが好みに応じて設定されていることを確認します。
- 8. 照明システムと反射板が正常に機能していることを確認します。
- 9. サドルとシートポストが正しく位置し、締め付けられていることを確認してください。サドルはフレームのトップチューブと一直線になっている必要があります。
- 10. シフト操作がスムーズに行われるか確認し、必要に応じて調整します。
- 11. ペダルとシューズに保持システムの妨げになるようなゴミがないことを確認します。
- 12. 高品質のチェーン潤滑剤 (Park Tool CL-1 または同等品) を使用してチェーンに潤滑油を塗ります。

毎週 (約100マイル) :

- 1. すべてのボルトが適切なトルクで締め付けられていることを確認してください。ペダルやその他の付属品も必ず確認してください。
- 2. リムに損傷の兆候がないか確認し、スポークが緩んでいないか確認します。
- 3. 自転車を洗浄します。高圧洗浄機、強力な化学洗浄剤、溶剤は使用しないでください。また、圧縮空気で乾燥させないでください。
- 4. タイヤの損傷や摩耗を確認して状態は良好です。
- 5. サスペンション部品のダストシールにひび割れや漏れがないか清掃します。
- 6. 電子ドライブトレイン、サスペンション、またはアクセサリ コンポーネントのバッテリー レベルを確認します。

毎月 (約400マイル)

- 1. シフターとブレーキ ケーブル/ホースに摩耗、漏れ、ほつれ、錆、その他の損傷がないか確認します。
- 2. 通常の操作時にケーブルが引っ張られたり、他の部品に引っかかったりしないことを確認します。

## 機械的安全性チェック

1. ボトムブラケットが締め付けられていることを確認します  
適切なトルク仕様でクランクアームを回転させ、摩擦、異音、ガタがないことを確認してください。必要に応じて調整またはオーバーホールを行ってください。販売店にご相談ください。

2. フロントブレーキがロックされているときにヘッドセットが遊びがなく、正しく調整されていることを確認します。  
必要に応じて調整またはオーバーホールしてください。販売店にご相談ください。

3. チェーンの張りが適切であることを確認します。  
チェーンに破損部分、ねじれ、錆などがないか点検します。

4. ブレーキパッドが摩耗していないか確認する（1mm未満の場合は交換）

5. チェーンステアガードとボトムブラケットを確認する  
摩耗に備えたガード。

6. ホイールハブがスムーズに作動するか（緩みや摩耗がないか）確認してください。必要に応じて調整またはオーバーホールを行い、販売店にご相談ください。
3. タイヤのシーラントレベルを確認する（チューブレスの場合）  
設定）。

4. サスペンション部品の摩耗や損傷を点検します。

5. フレームピボットベアリングを清掃して点検します。  
ショックリンク、ピボットアックスル。高品質の自転車用グリース（Park Tool HPG-1または同等品）を使用して部品にグリースを塗り直し、摩耗または損傷している場合は交換してください。チューブレス仕様の場合は、タイヤのシーラントレベルを確認し、1mm未満の場合は交換してください。

6. チェーンステアガードとボトムブラケットを確認する  
摩耗に備えたガード。

7. フレームピボットベアリングを清掃して点検します。  
ショックリンク、ピボットアックスル。高品質の自転車用グリース（Park Tool HPG-1または同等品）を使用して部品にグリースを塗り直し、摩耗または損傷している場合は交換してください。

### 毎年（約6000マイル）

1. 販売店で年次サービス（フレーム、サスペンション、その他すべてのコンポーネントのオーバーホール サービスと検査）を実行します。
2. 必要に応じて部品の修理、メンテナンス、交換を行います。
3. 部品メーカーの推奨に従って、すべての部品を洗浄し、潤滑します。

説明書を参照するか、販売店にご相談ください。

4. サービス手順と間隔を確認する  
自転車はwww.cervelo.comで
5. コンポーネント製造元の指示に従って、ブレーキのブリーディングとサスペンションのオーバーホールを実行します。

注意：このセクションでは、自転車の安全な運転を確保するためのガイドラインを示しますが、完全な安全点検とみなすべきではありません。これらのガイドラインに従うことで、自転車の性能を維持し、より深刻な問題の発生を防ぐことができます。

特定のコンポーネントのサービス手順については、メーカーのウェブサイトをご覧ください。自転車に問題が見つかり、修理できない場合は、Cervélo正規販売店に自転車をお持ち込みいただき、サービスを受けてください。サービス間隔は、気候、トレイルの状況、走行頻度によって異なる場合があることにご注意ください。

### ⚠ WARNING

衝突や事故に遭った場合は、必ずプロの自転車整備士に点検してもらい、安全に乗れるかどうかを確認してください。損傷した自転車に乗るのは危険であり、重傷や死亡につながる可能性があります。

## サーヴェロ カスタマーサポート

カスタマーサポートへのお問い合わせ  
Cervélo への質問やサービスおよびメンテナンス サポートについては、[www.cervelo.com/contact-us](http://www.cervelo.com/contact-us) にアクセスしてください。

製品登録  
[www.cervelo.com/support/registration](http://www.cervelo.com/support/registration)をご覧ください。—  
MyCervélo アカウントを通じて Cervélo 自転車を登録します。

マニュアル  
Cervélo 製品の詳細については、[www.cervelo.com/product-manuals](http://www.cervelo.com/product-manuals) をご覧ください。



保証  
Cervélo の保証ポリシーの詳細については、[www.cervelo.com/warranty](http://www.cervelo.com/warranty) をご覧ください。



# 2025 Pシリーズ 組立マニュアル

[www.cervelo.com](http://www.cervelo.com)

CER-PSF-V1 2024-07-29

# cervelo